

リストNo	03-036	施設コード	00135		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	ゆたか緑地集会所				
所在(町名・番地)	東区豊町6399-1				
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	公園		
所管課	本庁	都市整備部公園管理事務所	課長名 高林 繁		
	施設	都市整備部公園管理事務所	課長名 高林 繁		
設置根拠(法)	都市公園法				
条例	浜松市都市公園条例				
設置目的	都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること(都市公園法第1条)				
主な利用者	一般				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2020/04/01 ~				
管理者名	東海ビル管理(株)				
開館時間	9:00 ~ 21:00				
建物情報	総延床面積	770.00	土地面積 26,760.91		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積 26,411.71	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 349.20	
	建築年月日(主要建物)	1987/3/1			
	経過年数(主要建物)	36			代表地目(現況地目) 公園
用途地域	市街化調整区域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	寄付金	—	—	—
		その他	—	—	—
		市債	—	—	—
		一般財源	—	—	—
		特記事項	—		



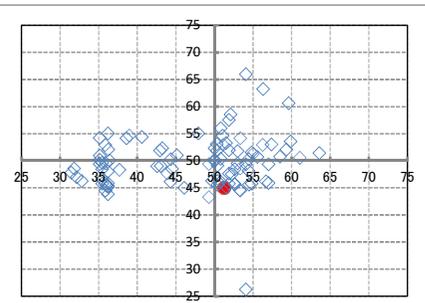
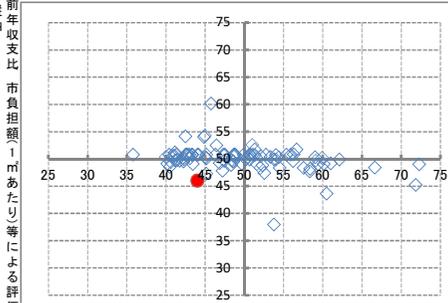
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	3,819	3,957	4,095
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	903	939	963
	収入計(A)	4,722	4,896	5,058
支出(千円)	人件費	11,081	10,701	13,937
	物件費(委託料)	0	774	821
	維持補修費(修繕費)	4,444	487	3,389
	物件費(光熱水費)	2,526	1,591	1,542
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	18,051	13,553	19,689
行政コスト(B-A)		13,329	8,657	14,631
収支前年比		153.97	59.17	136.36
(参考)指定管理料		12,311	11,111	13,394
(参考)減価償却費		2,108	2,111	2,596
利用状況	利用コマ数/年	638	5,818	2,165
	利用可能コマ数/年	17,232	25,707	15,984
	施設利用者数/年	8,075	62,050	8,525
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	300,264	19,205	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2017	屋根防水工事	6,156			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-034	笠井協働センター	生活	1.8
20-002	東部衛生工場	地域	0.2
11-008	発達医療総合福祉センター	市域	0.5
05-043	高園ゲートボール場あずまや	小規模等	0.8
15-033	豊西小学校	生活	1.1
05-022	浜北武道館	地域	1.2
05-021	サンライフ浜北	地域	1.2
08-027	豊西幼稚園	生活	1.2
07-022	とよにしっこ放課後児童会	生活	1.2



基本情報	リストNo	03-036	施設コード	00135	所管課	本庁	都市整備部公園管理事務所
	施設名	ゆたか緑地集会所				施設	都市整備部公園管理事務所
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設							
施設運営分析	関連政策名	都市公園・緑地の整備					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること(都市公園法第1条)					
		主な業務内容	貸館(ホール・会議室)業務。自主事業				
		主な利用者	一般				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		利用者の多くが一般利用者であり、ニーズに大きな変化はないと考える。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業②	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	施設・設備の老朽化により、故障の発生や修繕が必要な箇所が多くなってきている。					
	対応策	施設・設備の老朽化により、故障の発生や修繕が必要な箇所が多くなってきているが、市民サービスの低下や貸し館業務の支障にならないよう計画的に改修工事や修繕を行う必要がある。可能な限り指定管理者により修繕・補修等を行っているが、引き続き、民間企業のノウハウ等を最大限に活用し、質の高い公園の提供により、利用者が気持ちよく施設を利用できるようにして、公園利用者の拡大や費用対効果の向上に努める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理者制度導入施設であり、ニーズにあった自主事業の展開など、公園としての公用発揮、有効活用の推進に努める。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	17,310	11,243	19,001	1人当たりのコスト(円)	1,651	140	1,716	
	施設利用率(%)	3.7	22.6	13.5	1開館日当たりのコスト(円)	37,128	24,114	40,755	
	1日当たり利用者(人)	22	173	24	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用用途別分類毎の方向性	<p>公共施設等総合管理計画より抜粋</p> <p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
		個別方針		<p>1資産の見直し 統廃合 — — — —</p> <p>2民活導入 (1)維持管理 — (2)改修・更新時 (3)その他 —</p> <p>当面適切な維持管理に努める。更新時には、施設設置の経緯や利用状況を踏まえ、統廃合も検討する。</p>					

リストNo	03-037	施設コード	04506			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	神久呂協働センター					
所在(町名・番地)	西区神原町922					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕			
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有			
設置根拠(法)	—					
条例	浜松市協働センター条例					
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
主な利用者	地域活動団体、一般団体、神久呂小学校児童等					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	8:30 ～ 21:30					
建物情報	総延床面積	1,922.40	土地面積	4,100.00		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	4,100.00	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.31				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1979/2/1				
	経過年数(主要建物)	44				
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
設置事業費	217,005	—	217,005			
財源	国・県	25,051	—	25,051		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
	一般財源	191,954	—	191,954		
特記事項	—					



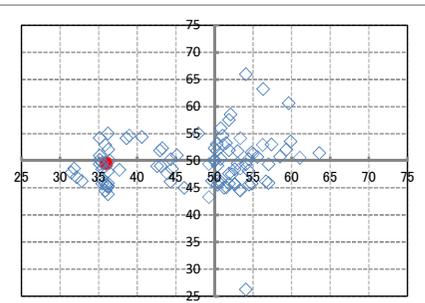
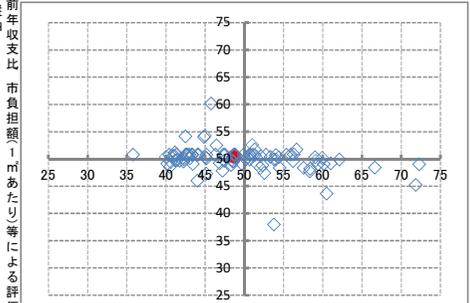
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	2,496	2,246	2,293
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	103	98	206
	収入計(A)	2,599	2,344	2,499
	人件費	28,800	28,800	28,800
支出(千円)	物件費(委託料)	3,169	3,188	3,083
	維持補修費(修繕費)	1,684	4,179	1,725
	物件費(光熱水費)	2,417	2,113	2,104
	物件費(借地料)	0	0	466
	支出計(B)	36,070	38,280	36,178
行政コスト(B-A)	33,471	35,936	33,679	
収支前年比	93.14	106.70	102.47	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	5,745	5,745	5,745	
利用状況	利用コマ数/年	11,327	12,121	12,011
	利用可能コマ数/年	43,351	42,947	43,367
	施設利用者数/年	36,669	35,195	32,955
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	574	574
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	113,215	10,840	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2015	附設体育館床面改修工事	4,614			
2015	附設体育館吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	5,440			
2015	附設体育館吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	16,869			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-092	神原会館	コミュニティ	0.5
03-093	西山会館	コミュニティ	1.6
03-091	神ヶ谷会館	コミュニティ	1.6
03-043	農村環境改善センター	生活	1.7
03-039	伊佐見協働センター	生活	1.7
20-005	西部衛生工場神原ポンプ場	地域	0.4
15-043	神久呂小学校	生活	0.7
07-030	松かげ第2放課後児童会	生活	0.7
08-034	神久呂幼稚園	生活	0.7
15-117	神久呂中学校	生活	1.0
06-010	はまゆう図書館	地域	1.2
08-014	神田原保育園	生活	1.4
14-047	浜松第32分団	コミュニティ	1.4



基本情報	リストNo	03-037	施設コード	04506	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	神久呂協働センター		施設	西区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	4	再任用(人)	1
複合施設		—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援				
		主な利用者	地域活動団体、一般団体、神久呂小学校児童等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズが増す				
	特記事項		生涯学習の拠点として必要不可欠な施設				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		「神久呂ふれあい大学」 ※のべ募集人員は各講座の募集人数×回数を合計した数値を記入。 ※参加者数は各講座の回ごとの出席者数を合計した数値を記入。	2022	28	90	48	
			2021	39	100	78	
			2020	28	90	30	
			2022	46	72	30	
事業②		「神久呂女性学級」 ※のべ募集人員は各講座の募集人数×回数を合計した数値を記入。 ※参加者数は各講座の回ごとの出席者数を合計した数値を記入。	2021	28	75	33	
			2020	42	125	27	
			2022	32	54	41	
事業③		「神久呂夏休み子ども講座」 ※のべ募集人員は各講座の募集人数×回数を合計した数値を記入。 ※参加者数は各講座の回ごとの出席者数を合計した数値を記入。	2021	67	65	70	
			2020	42	56	52	
	2022		—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化による設備の故障が多発している					
	対応策	突発的な緊急修繕に対応しながら、計画的に修繕を行うようにしていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	17,411	18,693	17,519	1人当たりのコスト(円)	913	1,021	1,022	
	施設利用率(%)	26.1	28.2	27.7	1開館日当たりのコスト(円)	93,234	100,100	93,813	
	1日当たり利用者(人)	102	98	92	1定員当たりのコスト(円)	—	62,606	58,674	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用用途別分類毎の方向性	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) 利用状況等による評価(横軸)							
		公共施設等総合管理計画より抜粋 今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。									

リストNo	03-038	施設コード	04507			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	入野協働センター					
所在(町名・番地)	西区入野町9858					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕			
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有			
設置根拠(法)	—					
条例	浜松市協働センター条例					
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
主な利用者	地域活動団体、入野中学校、他3小学校等					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	8:30 ～ 21:30					
建物情報	総延床面積	1,886.10	土地面積	4,088.03		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	3,042.75	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	1,045.28
	耐震性能(1s値)(主要建物)	0.92				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1979/1/1				
	経過年数(主要建物)	44				
用途地域	工業地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	253,100	—	253,100		
	国・県	29,900	—	29,900		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	223,200	—	223,200			
特記事項	—					



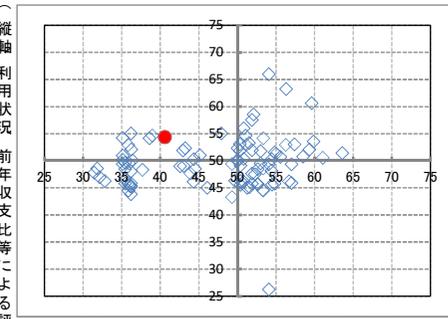
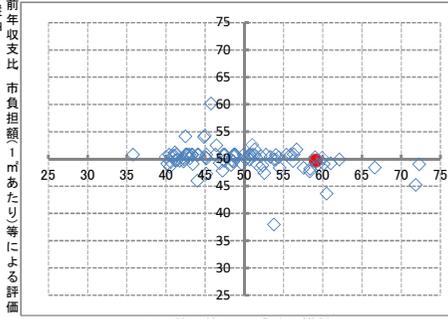
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	4,010	3,634	3,434
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	380	298	483
	収入計(A)	4,390	3,932	3,917
支出(千円)	人件費	29,600	29,600	29,600
	物件費(委託料)	2,701	2,722	2,642
	維持補修費(修繕費)	987	547	553
	物件費(光熱水費)	3,023	2,594	2,427
	物件費(借地料)	889	889	874
	支出計(B)	37,200	36,352	36,096
行政コスト(B-A)		32,810	32,420	32,179
収支前年比		101.20	100.75	103.89
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		5,248	0	0
利用状況	利用コマ数/年	10,059	11,579	10,059
	利用可能コマ数/年	36,072	35,044	36,072
	施設利用者数/年	79,486	50,318	41,101
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	565	565	565
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	193,793	56,388	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2020	令和2年度 浜松市入野協働センター附設体育館床面改修工事	3,144	2006	下水道切替工事(機械設備工事)	7,254
2015	附設体育館吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	5,659				
2015	附設体育館吊り天井落下防止対策工事(建設工事)	17,103				
2012	機能修復工事(建築工事)	138,405				
2012	機能修復工事(機械設備工事)	46,841				
2012	機能修復工事(電気設備工事)	25,935				

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-049	可美協働センター	生活	1.4
03-026	佐鳴台協働センター	生活	1.6
同分類			
その他の分類			
14-048	浜松第33分団	コミュニティ	0.0
15-121	入野中学校	生活	0.3
05-011	佐鳴湖公園	地域	0.5
07-033	めだか放課後児童会	生活	0.7
15-045	入野小学校	生活	0.8
24-015	西部排水機場	—	0.8
24-008	境川排水機場	—	1.0
23-094	高塚駅南北自由通路	地域	1.0



基本情報	リストNo	03-038	施設コード	04507	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	入野協働センター			施設	西区・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	2
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援				
		主な利用者	地域活動団体、入野中学校、他3小学校等				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズが増す。				
	特記事項		生涯学習の拠点として必要不可欠な施設				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		事業名:子ども講座開催実績:7回※のべ募集人数は各講座の募集人数×回数を合計した数値を記入。※参加者数は各講座の回ごとの出席者数を合計した数値を記入。	2022	69	104	86	
			2021	62	132	150	
			2020	40	42	38	
			2022	193	—	800	
事業②		事業名:地域ふれあい事業開催実績:入野地区ふるさと夏まつり(1日)【中止】、協働センターまつり(2日)	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		事業名:地域文化セミナー開催実績:14回※のべ募集人数は各講座の募集人数×回数を合計した数値を記入。※参加者数は各講座の回ごとの出席者数を合計した数値を記入。	2022	279	954	964	
			2021	149	247	290	
			2020	65	155	82	
事業④	事業名:アクティブ・シニア講座開催実績:9回※のべ募集人数は各講座の募集人数×回数を合計した数値を記入。※参加者数は各講座の回ごとの出席者数を合計した数値を記入。	2022	32	180	124		
		2021	49	180	139		
2020	46	105	84				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	①体育館施設・設備の老朽化が進んでいる。②駐車場敷地の大部分は未舗装(砂利)の借地で、「穴ができる」「砂利が道路に飛散する」など管理に支障をきたしている。また、複数の施設利用団体が重なる時には、一時的に駐車場が満車となり混雑することがある。					
	対応策	①優先順位の高い箇所から修繕工事を行っている。2020年度は体育館床工事を行った。②砂利駐車場は、穴を埋めて整備している。敷地南側部分を駐車場として開放したり、イベント時には近隣民間施設の駐車場を借用したりしている。また、借地解消に向けて検討を進めている。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
記入欄	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活用の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	17,396	17,189	17,061	1人当たりのコスト(円)	413	644	783
	施設利用率(%)	27.9	33.0	27.9	1開館日当たりのコスト(円)	91,393	90,306	89,635
	1日当たり利用者(人)	221	140	114	1定員当たりのコスト(円)	58,071	57,381	56,954
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化が進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

施設カルテ 2023

リストNo	03-039	施設コード	04508
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	伊佐見協働センター		
所在(町名・番地)	西区伊左地町45		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市協働センター条例		
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。		
主な利用者	地域活動団体35団体、一般団体、伊佐見小学校児童等		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	8:30 ～ 21:30		
建物情報	総延床面積	2,000.65	土地面積 6,468.11
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1992/1/1	
経過年数(主要建物)	31	うち所有面積 6,468.11	うち借地面積 0.00
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	747,563	—	747,563
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	747,563	—
特記事項	—		



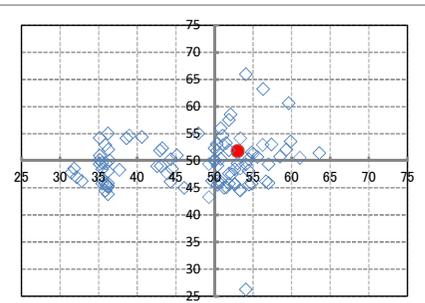
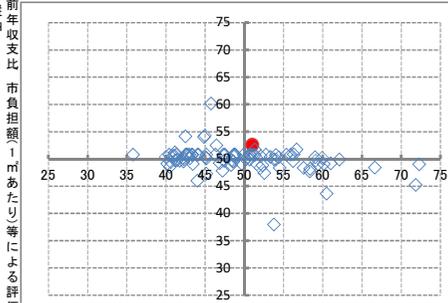
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	3,203	3,346	2,670
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	126	147	335
	収入計(A)	3,329	3,493	3,005
	支出(千円)	21,800	28,800	28,800
人件費	21,800	28,800	28,800	
物件費(委託料)	3,210	3,180	3,158	
維持補修費(修繕費)	644	2,888	1,155	
物件費(光熱水費)	2,443	2,317	2,021	
物件費(借地料)	0	0	0	
支出計(B)	28,097	37,185	35,134	
行政コスト(B-A)	24,768	33,692	32,129	
収支前年比	73.51	104.86	115.51	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	19,814	19,814	19,814	
利用状況	利用コマ数/年	10,832	9,684	7,527
	利用可能コマ数/年	42,935	41,819	37,921
	施設利用者数/年	47,784	48,625	40,459
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	483	483	483
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	153,788	175,261	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	令和2年度 浜松市伊佐見協働センター附設体育館修繕改修工事	7,021	2016	空調設備改修工事	27,038
2020	令和2年度 浜松市伊佐見協働センター消防設備更新工事	3,410	2015	附設体育館他1件吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	24,771
2019	伊佐見協働センター附設駐車場整備工事	31,350	2015	附設体育館他1件吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	5,796
2018	公民館(体育館併設)棟外壁改修工事	15,035			
2018	公民館(体育館併設)棟屋根防水工事	21,617			
2016	ユニバーサルデザイン化整備工事	38,175			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-090	佐浜会館	コミュニティ	1.0
03-037	神久呂協働センター	生活	1.7
03-043	農村環境改善センター	生活	1.7
03-097	北原会館	コミュニティ	1.9
03-092	神原会館	コミュニティ	1.9
07-036	伊佐見放課後児童会	生活	0.0
08-033	伊佐見幼稚園	生活	0.1
14-049	浜松第36分団	コミュニティ	0.1
15-041	伊佐見小学校	生活	0.2
06-010	はまゆう図書館	地域	0.7
24-010	佐浜第1排水機場	—	0.8
24-011	佐浜第2排水機場	—	1.1
15-119	湖東中学校	生活	1.4



基本情報	リストNo	03-039	施設コード	04508	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	伊佐見協働センター		施設	西区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	4	再任用(人)	1
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援				
		主な利用者	地域活動団体35団体、一般団体、伊佐見小学校児童等				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズが増す。				
		特記事項	生涯学習の拠点として必要不可欠な施設				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		事業名:地域ふれあいフェスタ事業:伊佐見ふれあい水車小屋コンサート(1日)、協働センターまつり(1日)	2022	375	—	1,000	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			のべ募集人員		参加者数		
事業②		事業名:地域文化セミナー開催実績:10回※のべ募集人数は各講座の募集人数×回数を合計した数値を記入。※参加者数は各講座の回ごとの出席者数を合計した数値を記入。	2022	42	130	202	
			2021	140	211	155	
			2020	91	106	93	
事業③		事業名:子ども講座開催実績:6回※のべ募集人数は各講座の募集人数×回数を合計した数値を記入。※参加者数は各講座の回ごとの出席者数を合計した数値を記入。	2022	53	96	81	
			2021	53	127	127	
	2020		39	70	79		
事業④	事業名:アクティブ・シニア講座開催実績:9回※のべ募集人数は各講座の募集人数×回数を合計した数値を記入。※参加者数は各講座の回ごとの出席者数を合計した数値を記入。	2022	46	261	129		
		2021	18	155	99		
		2020	35	238	139		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	①敷地内の地盤沈下により、建物周辺の敷設ブロック等の沈降や隙間が発生し、徐々に進行・悪化している。 ②築約30年を経過し、施設の老朽化が進んでおり、修繕や更新が必要な箇所が年々増加し、緊急性の高いものから随時、修繕・更新を行っている。					
	対応策	①建物周辺土地の調査及び嵩上げ工事等、対策を検討していく。 ②今後も計画的に修繕・更新を行うとともに、突発的な緊急修繕にも対応していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
記入欄	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、令和4年度から施設の管理・運営を地域の希望に応じて地域団体に委託している。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	12,380	16,841	16,059	1人当たりのコスト(円)	518	693	794
	施設利用率(%)	25.2	23.2	19.8	1開館日当たりのコスト(円)	68,992	93,850	89,496
	1日当たり利用者(人)	133	135	113	1定員当たりのコスト(円)	51,280	69,756	66,520
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化が進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。</p>								

リストNo	03-040	施設コード	04509	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	和地協働センター			
所在(町名・番地)	西区和地町6578			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕	
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市協働センター条例			
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。			
主な利用者	地域活動団体、和地小学校児童、自治会、体育振興会等			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:30 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	2,269.87	土地面積 6,001.46	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.42		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1981/1/1		
	経過年数(主要建物)	42		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	487,620	—	487,620
	国・県	251,003	—	251,003
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	236,617	—	236,617	
特記事項	—			



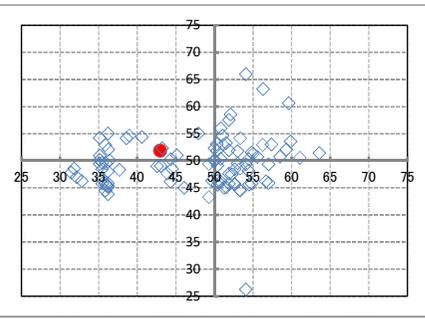
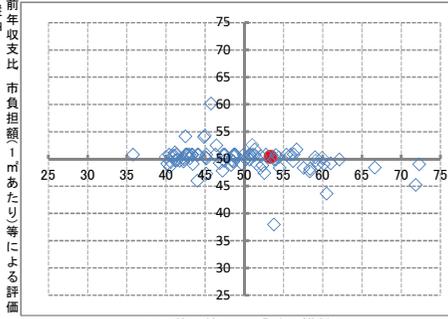
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	2,918	2,728	2,743
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	235	186	385
	収入計(A)	3,153	2,914	3,128
	人件費	21,000	21,000	21,000
支出(千円)	物件費(委託料)	3,268	3,230	3,074
	維持補修費(修繕費)	1,929	2,281	1,258
	物件費(光熱水費)	2,157	1,962	1,769
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	28,354	28,473	27,101
行政コスト(B-A)	25,201	25,559	23,973	
収支前年比	98.60	106.62	100.38	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	8,916	8,916	8,916	
利用状況	利用コマ数/年	12,609	12,477	11,700
	利用可能コマ数/年	42,594	42,636	44,672
	施設利用者数/年	63,703	48,935	62,291
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	504	504
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	128,049	30,800	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	附設駐車場整備工事	44,513	2015	附設体育館床面改修工事	25,891
2021	附設体育館屋根改修工事	8,080	2015	附設体育館他1件吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	6,582
2019	浜松市和地協働センターユニバーサルデザイン化整備及び外壁改修工事	67,938	2014	ユニバーサルデザイン化整備工事	6,925
2018	ユニバーサルデザイン化工事	2,738	2012	空調設備改修工事(機械設備工事)	28,889
2017	平成29年度浜松市和地協働センター他1件消防設備更新工事	5,784	2012	空調設備改修工事(電気設備工事)	7,981
2015	附設体育館他1件吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	18,597			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-089	湖東西会館	コミュニティ	0.7
03-088	湖東会館	コミュニティ	1.3
03-087	下之谷会館	コミュニティ	1.4
03-097	北原会館	コミュニティ	1.5
03-079	北星会館	コミュニティ	1.9
07-035	わじ第1放課後児童会	生活	0.1
15-048	和地小学校	生活	0.1
26-035	和地中継ポンプ場	—	0.3
13-039	湖東団地	地域	0.5
26-011	湖東浄化センター	—	0.6
08-040	和地幼稚園	生活	1.2
14-050	浜松第37分団	コミュニティ	1.2
10-004	ふれあい交流センター湖東	地域	1.2



基本情報	リストNo	03-040	施設コード	04509	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	和地協働センター		施設	西区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	5	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援				
		主な利用者	地域活動団体、和地小学校児童、自治会、体育振興会等				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズが増す。				
	特記事項		生涯学習の拠点として必要不可欠な施設				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		事業名:地域ふれあいフェスタ事業開催実績:協働センターまつり(2日)、花川コンサート(1日)、おもちゃ病院(12回)	2022	959	410	1,056	
			2021	700	520	721	
			2020	535	850	811	
事業②		事業名:地域文化セミナー開催実績:28回※のべ募集人数は各講座の募集人数×回数を合計した数値を記入。※参加者数は各講座の回ごとの出席者数を合計した数値を記入。	2022	117	580	354	
			2021	76	290	185	
			2020	77	358	297	
事業③		事業名:子ども講座開催実績:16回※のべ募集人数は各講座の募集人数×回数を合計した数値を記入。※参加者数は各講座の回ごとの出席者数を合計した数値を記入。	2022	39	230	240	
			2021	48	280	171	
			2020	53	371	367	
事業④	事業名:アクティブ・シニア開催実績:10回※のべ募集人数は各講座の募集人数×回数を合計した数値を記入。※参加者数は各講座の回ごとの出席者数を合計した数値を記入。	2022	29	300	88		
		2021	36	240	128		
		2020	25	200	133		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	①老朽化による修繕費のコスト増加。予算上、必要最低限の修繕しかできないのが現状。築後30年以上経過に伴う施設の老朽化により、雨漏りや故障が発生しており、その都度修繕で対応している。②施設は公共交通機関でアクセスしにくい場所にあり利便性が悪く、また施設の収容数と比較しても駐車場スペースが少ない。					
	対応策	①優先順位をつけて計画的に修繕工事を実施していく。②イベント開催時には、周辺施設の協力を得て駐車場スペースを確保し、R4年度には第二駐車場を整備した。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
記入欄	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—	—		
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、平成30年度から施設の管理・運営を地域の希望に応じて地域団体に委託している。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	11,102	11,260	10,561	1人当たりのコスト(円)	396	522	385	
	施設利用率(%)	29.6	29.3	26.2	1開館日当たりのコスト(円)	70,198	71,195	66,777	
	1日当たり利用者(人)	177	136	174	1定員当たりのコスト(円)	—	50,712	47,565	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用者等の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
		今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
個別方針		住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。							

リストNo	03-041	施設コード	04510			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	庄内協働センター					
所在(町名・番地)	西区庄内町14-5					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕			
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有			
設置根拠(法)	—					
条例	浜松市協働センター条例					
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
主な利用者	地域活動団体、浜松市立庄内学園・村楠小学校児童等					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	8:30 ～ 21:30					
建物情報	総延床面積	2,526.92	土地面積	6,798.97		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	6,798.97	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1989/1/1				
	経過年数(主要建物)	34				
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	691,178	—	691,178		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	691,178	—	691,178			
特記事項	—					



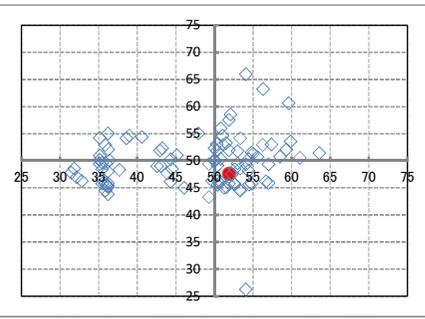
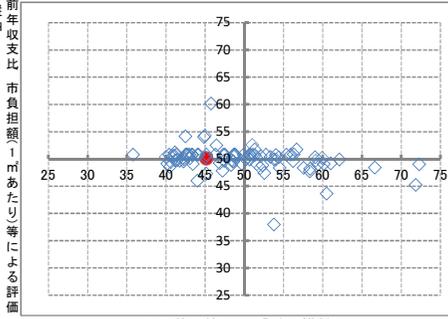
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	1,716	1,510	1,553
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	113	100	367
	収入計(A)	1,829	1,610	1,920
支出(千円)	人件費	28,000	28,800	28,800
	物件費(委託料)	3,641	3,655	3,637
	維持補修費(修繕費)	1,718	917	337
	物件費(光熱水費)	2,517	2,226	2,163
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	35,876	35,598	34,937
行政コスト(B-A)		34,047	33,988	33,017
収支前年比		100.17	102.94	100.45
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		14,787	22,736	22,736
利用状況	利用コマ数/年	6,395	5,532	4,745
	利用可能コマ数/年	40,653	39,140	38,444
	施設利用者数/年	26,552	21,162	21,463
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	570	570	570
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	721	121,719	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	令和3年度 浜松市庄内協働センター施設管理修繕費及びカーテン改修工事	5,957			
2018	ユニバーサルデザイン化整備工事	42,144			
2017	附設体育館屋根防水工事	11,596			
2017	平成29年度浜松市和地協働センター他1件消防設備更新工事	6,636			
2015	附設体育館吊り天井落下防止対策工事	29,884			
2014	空調設備改修工事	35,225			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
26-012	館山寺浄化センター	—	0.1
14-014	西消防署庄内出張所	地域	0.2
15-116	庄内学園(庄内小学校・中学校)	生活	0.2
07-038	庄内学園放課後児童会	生活	0.2
04-019	館山寺ターミナル事務所	地域	1.1
04-045	館山寺門前広場・門前通り公共駐車場	小規模等	1.3
18-064	旧北庄内小学校	地域	1.8
14-052	浜松第39分団	コミュニティ	1.8



基本情報	リストNo	03-041	施設コード	04510	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	庄内協働センター				施設	西区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	5	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援				
		主な利用者	地域活動団体、浜松市立庄内学園・村橋小学校児童等				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズが増す。				
		特記事項	生涯学習の拠点として必要不可欠な施設				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		事業名:地域ふれあいフェスタ事業開催実績:庄内ウォーキング、ふれあいクリスマスコンサート、庄内協働センターまつり ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夏まつりは中止。	2022	256	—	642	
			2021	156	100	159	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②		事業名:地域文化セミナー開催実績:6回※のべ募集人数は各講座の募集人数×回数を合計した数値を記入※参加者数は各講座の回ごとの出席者数を合計した数値を記入	2022	91	466	247	
			2021	230	365	300	
			2020	228	752	533	
事業③		事業名:子ども講座開催実績:6回※のべ募集人数は各講座の募集人数×回数を合計した数値を記入※参加者数は各講座の回ごとの出席者数を合計した数値を記入	2022	46	190	159	
			2021	42	251	228	
事業④	事業名:浜松ヒューマンセミナー開催実績:1回の募集で10回の教室を提供※のべ募集人数は募集人数×回数を合計した数値を記入※参加者数は回ごとの出席者数を合計した数値を記入	2022	56	64	64		
		2021	70	100	65		
		2020	88	80	69		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	庄内協働センターの管轄地区は、人口に占める65歳以上の割合が約36%と高く、当センターを拠点に活動中の地域活動団体の構成員も高齢者が多数を占めており、高齢者にやさしい施設整備は必須である。また、開館から30年以上経過し、老朽化に伴う修繕箇所も年々増加傾向にあるため、施設の長寿命化に向けた適切かつ計画的な改修が必要である。					
	対応策	平成26年度に空調設備改修工事、平成27年度に体育館吊天井落下防止対策工事、平成28、29年度にかけて当センター及び併設体育館屋上防水改修工事、平成30年度にはUD化工事で昇降設備(エレベーター)と授乳室を設置するなど施設の改修を行っており、今後も施設パトロール等の結果を踏まえた計画的な修繕や工事の推進に努める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
記入欄	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、令和5年度から施設の管理・運営を地域の希望に応じて地域団体に委託している。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	13,474	13,450	13,066	1人当たりのコスト(円)	1,282	1,606	1,538
	施設利用率(%)	15.7	14.1	12.3	1開館日当たりのコスト(円)	94,838	94,674	91,969
	1日当たり利用者(人)	74	59	60	1定員当たりのコスト(円)	59,732	59,628	57,925
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>			 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。						
参考	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等併用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
		個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

施設カルテ 2023

リストNo	03-042	施設コード	04511			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	篠原協働センター					
所在(町名・番地)	西区篠原町20399番地の1					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕			
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有			
設置根拠(法)	—					
条例	浜松市協働センター条例					
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
主な利用者	地域活動団体、篠原中学校生徒、篠原小学校児童等					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	8:30 ～ 21:30					
建物情報	総延床面積	2,317.26	土地面積	6,024.66		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	6,024.66	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2008/11/11				
	経過年数(主要建物)	14				
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	481,273	91,001	572,274		
	国・県	国・県	188,781	36,394	225,175	
		寄付金	—	—	—	
		その他	—	—	—	
		市債	135,343	37,733	173,076	
一般財源	157,149	16,874	174,023			
特記事項	—					



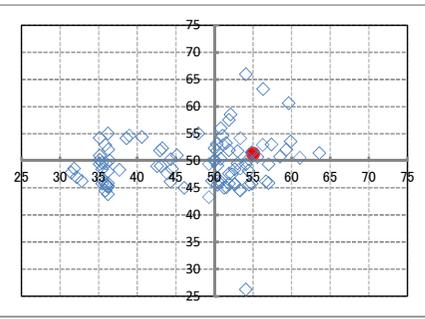
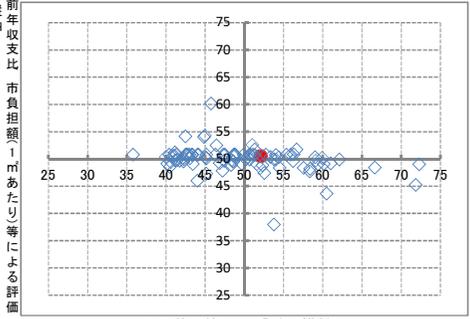
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	4,307	3,693	3,373
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	267	253	408
	収入計(A)	4,574	3,946	3,781
支出(千円)	人件費	28,000	28,800	28,800
	物件費(委託料)	3,019	2,984	2,958
	維持補修費(修繕費)	2,014	2,760	1,150
	物件費(光熱水費)	2,788	2,036	1,871
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	35,821	36,580	34,779
行政コスト(B-A)		31,247	32,634	30,998
収支前年比		95.75	105.28	103.31
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		7,180	7,180	7,180
利用状況	利用コマ数/年	13,803	11,437	7,849
	利用可能コマ数/年	52,086	51,089	40,412
	施設利用者数/年	58,457	52,562	44,823
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	668	668
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	153,086	225,847	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2018	附設体育館外壁改修工事	14,506	2008	移転新築工事(機械設備工事)	54,495
2018	附設体育館屋根防水工事	8,100	2008	移転新築工事(電気設備工事)	49,245
2015	附設体育館吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	6,034	2008	貯水槽設置工事	7,770
2015	附設体育館吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	17,394			
2015	附設体育館床面改修工事	16,498			
2008	移転新築工事(建築工事)	283,500			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-051	浜松第38分団	コミュニティ	0.1
15-120	篠原中学校	生活	0.3
07-029	篠原放課後児童会	生活	0.4
15-042	篠原小学校	生活	0.4
20-001	西部清掃工場	広域	1.0
24-012	篠原中排水機場	—	1.0
05-004	古橋廣之進記念浜松市総合水泳場	広域	1.2
24-016	坪井排水機場	—	1.3



基本情報	リストNo	03-042	施設コード	04511	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	篠原協働センター				施設	西区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	5	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援				
		主な利用者	地域活動団体、篠原中学校生徒、篠原小学校児童等				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズが増す。				
		特記事項	生涯学習の拠点として必要不可欠な施設				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		事業名:協働センターまつり(※2021年度は小さな展示会開催で団体数を記載)	2022	490	455	455	
			2021	—	12団体	11団体	
			2020	—	—	—	
			2022	93	156	169	
事業②		事業名:地域文化セミナー(開催実績16回)	2021	84	159	138	
			2020	60	88	81	
			2022	53	62	60	
事業③		事業名:子ども講座(開催実績4回)	2021	32	56	55	
			2020	27	30	23	
	2022		39	200	186		
事業④	事業名:アクティブシニア講座(開催実績10回)	2021	35	300	194		
		2020	28	320	139		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	昭和58年2月竣工(築40年経過)の附設体育館は、器具庫やトイレだけでなく、放送機器などの付帯設備も老朽化により不具合が目立っている。また、協働センターについても築13年が経過しており、各所に修繕を必要とする箇所が生じてきている。随時修繕を行っているが、その費用は年々増加している					
	対応策	体育館については、長寿命化を図るための修繕や利用者の安全安心に必要な施設改修を優先して実施していく。協働センターの条件の良さ(駐車場の広さや幹線道路からのアクセスの良さなど)を積極的に広報し、利用者の増加を図っていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
記入欄	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
	民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。					

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	13,484	14,083	13,377	1人当たりのコスト(円)	535	621	692
	施設利用率(%)	26.5	22.4	19.4	1開館日当たりのコスト(円)	87,039	90,903	86,345
	1日当たり利用者(人)	163	146	125	1定員当たりのコスト(円)	—	48,853	46,404
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
（縦軸） 利用状況 前年収支比等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

施設カルテ 2023

リストNo	03-043	施設コード	02188	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	農村環境改善センター			
所在(町名・番地)	西区伊左地町1320-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	産業部農地整備課	課長名 黒柳 健	
	施設	産業部農地整備課	課長名 黒柳 健	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市農村環境改善センター条例			
設置目的	農村地域の住民等の健康の保持及び生活の向上を図る。			
主な利用者	地域住民(子供～大人)			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~			
管理者名	浜松SK NKグループ			
開館時間	9:00 ~ 21:30			
建物情報	総延床面積	1,379.26	土地面積 8,327.25	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.96		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1980/8/11		
	経過年数(主要建物)	42		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	289,000	—	289,000
	国・県	144,500	—	144,500
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	144,500	—	144,500	
特記事項	—			



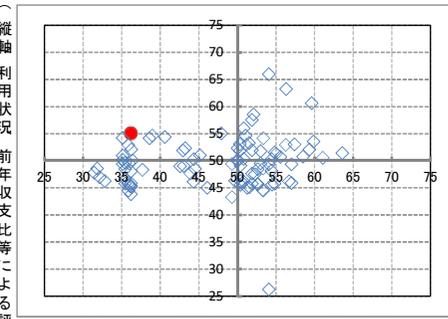
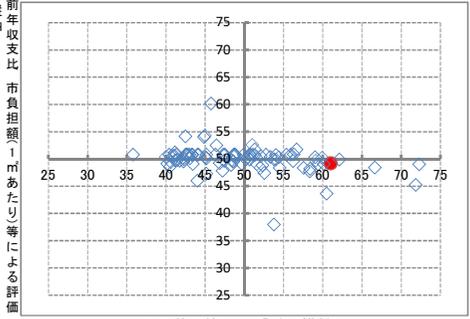
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	5,091	4,688	4,469
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	426	549	536
	収入計(A)	5,517	5,237	5,005
	支出(千円)	人件費	11,998	11,380
	物件費(委託料)	2,368	1,939	2,344
	維持補修費(修繕費)	1,128	1,319	1,495
	物件費(光熱水費)	3,831	3,145	2,400
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	19,325	17,783	17,900
	行政コスト(B-A)	13,808	12,546	12,895
	収支前年比	110.06	97.29	104.88
	(参考)指定管理料	14,731	14,703	15,434
	(参考)減価償却費	5,211	5,211	5,211
利用状況	利用コマ数/年	12,848	12,554	11,769
	利用可能コマ数/年	41,416	40,544	38,192
	施設利用者数/年	63,628	51,942	39,455
	開館日数/年	334	332	308
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	244,876	41,690	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2021	空調設備改修工事	32,130			
	2019	浜松市農村環境改善センター他2施設受電設備改修工事	24,427			
	2014	換気設備改修工事	3,510			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-097	北原会館	コミュニティ	0.7
03-092	神原会館	コミュニティ	1.3
03-088	湖東会館	コミュニティ	1.4
03-093	西山会館	コミュニティ	1.4
03-089	湖東西会館	コミュニティ	1.6
03-037	神久呂協働センター	生活	1.7
03-039	伊佐見協働センター	生活	1.7
14-013	西消防署湖東出張所	地域	0.4
20-004	西部衛生工場	地域	0.5
08-014	神田原保育園	生活	1.3
13-030	西山団地	地域	1.6
15-119	湖東中学校	生活	1.7
15-041	伊佐見小学校	生活	1.7
08-033	伊佐見幼稚園	生活	1.7
07-036	伊佐見放課後児童会	生活	1.8



基本情報	リストNo	03-043	施設コード	02188	所管課	本庁	産業部農地整備課
	施設名	農村環境改善センター				施設	産業部農地整備課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	生産基盤の安定による農業経営					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		農村地域の住民等の健康の保持及び生活の向上を図る。					
		主な業務内容	定期講座開催、貸館				
		主な利用者	地域住民(子供~大人)				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり、需要は確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			地域における健康の保持、生活の向上意識は益々高まると思われる。			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		定期講座の開催	2022	520	のべ募集人員	参加者数	
			2021	295	778	390	
			2020	308	604	546	
事業②		施設利用(貸館)	2022	—	—	42,269	
			2021	—	—	36,544	
			2020	—	—	30,665	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設オープン後、40年以上が経過し施設の老朽化が進んでいる。今後、安全性及び緊急性等を考慮し、計画的に施設改修を進める必要がある。					
	対応策	公共施設等総合管理計画に沿った適切な維持管理を行う。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	○	地域住民と協議をした中で、周辺類似施設への機能統合を考慮する。			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	10,011	9,096	9,349	1人当たりのコスト(円)	217	242	327
	施設利用率(%)	31.0	31.0	30.8	1開館日当たりのコスト(円)	41,341	37,789	41,867
	1日当たり利用者(人)	191	156	128	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。今後、施設設置の経緯や利用状況を踏まえ、統廃合も検討する。								

リストNo	03-044	施設コード	04491
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	東部協働センター体育館		
所在(町名・番地)	南区飯田町558		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市協働センター条例		
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。		
主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	8:30 ～ 21:30		
建物情報	総延床面積	1,479.40	土地面積 4,361.40
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2003/8/7	
	経過年数(主要建物)	19	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	333,795	—	333,795
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	333,795	—
特記事項	—		



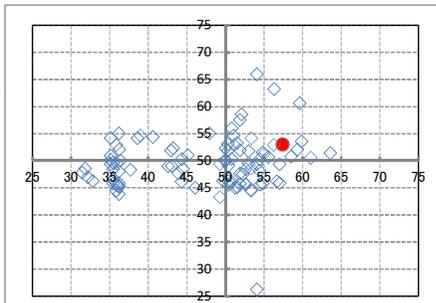
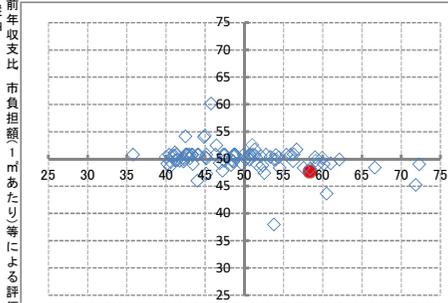
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	2,665	2,502	2,202
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	363	451	446
	収入計(A)	3,028	2,953	2,648
支出(千円)	人件費	42,000	42,000	42,800
	物件費(委託料)	642	1,405	1,589
	維持補修費(修繕費)	5,849	1,070	244
	物件費(光熱水費)	2,702	2,273	2,166
	物件費(借地料)	5,849	5,849	5,849
	支出計(B)	57,042	52,597	52,648
行政コスト(B-A)		54,014	49,644	50,000
収支前年比		108.80	99.29	96.59
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		8,078	8,078	8,078
利用状況	利用コマ数/年	9,244	8,054	8,087
	利用可能コマ数/年	20,699	20,263	15,806
	施設利用者数/年	63,260	52,413	38,012
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	213,696	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-031	蒲協働センター	生活	1.6
15-127	東部中学校	生活	0.2
08-043	飯田幼稚園	生活	0.2
14-016	浜松第27分団	地域	0.3
07-039	いなほ放課後児童会	生活	0.3
15-054	飯田小学校	生活	0.3
13-047	飯田団地	地域	0.7
12-004	中央卸売市場	広域	0.8
17-006	緑化推進センター	地域	0.9



基本情報	リストNo	03-044	施設コード	04491	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	東部協働センター体育館				施設	中区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	10	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援。				
		主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定かつ継続的な利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズは増すとされる。				
	特記事項		生涯学習、地域コミュニティの拠点として必要不可欠な施設である。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		地域文化セミナー	2022	—	—	—	
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
事業②		子ども講座	2022	—	—	—	
	2021	—	—	—	—		
事業③	アクティブ・シニア講座	2022	—	—	—		
	2021	—	—	—	—		
事業④	事業費・実施状況は「東部協働センター」に含む		2022	—	—	—	
	2021	—	—	—	—		
	2020		—	—	—		
施設所管課・本庁所管課	施設に関する課題等(ハード面から)						
	課題	体育館施設は飯田町にあるが、利用者が勘違いして相生町にある東部協働センターへ来館される事例が散見される。					
	対応策	施設情報を掲載している冊子やホームページに、附設体育館の住所を掲載して注意喚起を行っている。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
記入欄	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	36,511	33,557	33,797	1人当たりのコスト(円)	854	947	1,315
	施設利用率(%)	44.7	39.7	51.2	1開館日当たりのコスト(円)	150,457	138,284	139,276
	1日当たり利用者(人)	176	146	106	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間/ウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	<p>住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。</p>							

リストNo	03-045	施設コード	04512			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	南陽協働センター					
所在(町名・番地)	南区下江町462					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕			
	施設	南区・区民生活課	課長名 溝垣 達也			
設置根拠(法)	—					
条例	浜松市協働センター条例					
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
主な利用者	地域活動団体、地元的一般団体、指定団体、その他地域住民					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	8:30 ～ 21:30					
建物情報	総延床面積	2,352.50	土地面積	6,617.00		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	6,617.00	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.05				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1980/4/1				
	経過年数(主要建物)	43				
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	184,918	—	184,918		
	国・県	31,000	—	31,000		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	153,918	—	153,918			
特記事項	—					



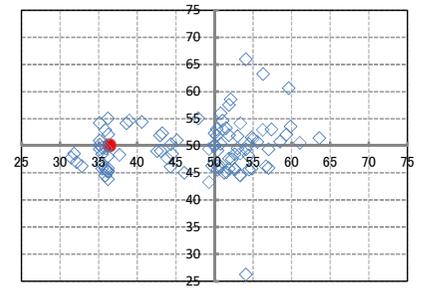
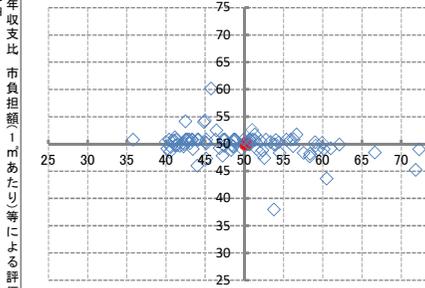
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	3,005	2,916	2,328
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1,940	1,610	1,379
	収入計(A)	4,945	4,526	3,707
支出(千円)	人件費	30,800	30,800	30,800
	物件費(委託料)	3,265	3,265	3,201
	維持補修費(修繕費)	947	650	1,129
	物件費(光熱水費)	5,248	4,989	3,893
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	40,260	39,704	39,023
行政コスト(B-A)		35,315	35,178	35,316
収支前年比		100.39	99.61	96.04
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		6,798	6,798	6,798
利用状況	利用コマ数/年	10,413	9,926	10,619
	利用可能コマ数/年	31,813	34,733	29,895
	施設利用者数/年	49,839	53,067	34,368
	開館日数/年	359	359	360
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	233,637	16,686	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	附設体育館床面改修工事	7,279	2012	付設体育館耐震補強工事	62,314
2019	浜松市南陽協働センター及び附設体育館屋根改修工事	26,519	2010	吸収式冷温水発生機更新工事	17,535
2016	ユニバーサルデザイン化工事	37,889	2010	ガス配管更新工事	6,720
2015	附設体育館吊り天井落下防止対策工事	24,611	2008	消火用自家発電装置更新工事	8,925
2015	LED照明導入工事	5,588			
2014	屋内消火栓配管修繕工事	5,429			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-046	五島協働センター	生活	1.8
06-011	南陽図書館	地域	0.0
15-124	東陽中学校	生活	0.5
14-018	南消防署芳川出張所	地域	0.6
24-024	御給排水機場	—	0.6
14-060	浜松第18分団	コミュニティ	1.0
07-047	かわわ放課後児童会	生活	1.1
15-049	河輪小学校	生活	1.1
14-062	浜松第26分団	コミュニティ	1.3



基本情報	リストNo	03-045	施設コード	04512	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課			
	施設名	南陽協働センター			施設	南区・区民生活課				
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	6	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。								
		主な業務内容	貸館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援							
		主な利用者	地域活動団体、地元一般団体、指定団体、その他地域住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				一定の利用者があり需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズが増す。				
		特記事項				生涯学習の拠点として必要不可欠な施設				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		地域ふれあい事業・2事業	2022	369	620	620				
			2021	369	240	240				
			2020	369	120	120				
			2022	70	15	15				
事業②		浜松ヒューマンセミナー・2講座	2021	70	15	15				
			2020	—	—	—				
			2022	53	20	20				
事業③		生きがいづくり教室・8回	2021	46	20	20				
			2020	56	93	18				
	2022		118	122	141					
事業④	子ども講座・8講座	2021	140	152	136					
		2020	98	109	61					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課	課題	施設の老朽化のため、不具合が発生しており、適切な修繕や改築が必要である。								
	対応策	施設の不具合などについては、適時、修繕工事を行っていく。また大規模な改修工事についても計画的に進めていく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
代替サービス		—	—	—	—					
統廃合	—	—	—	—						
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	15,012	14,953	15,012	1人当たりのコスト(円)	709	663	1,028
	施設利用率(%)	32.7	28.6	35.5	1開館日当たりのコスト(円)	98,370	97,989	98,100
	1日当たり利用者(人)	139	148	95	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。</p>								

リストNo	03-046	施設コード	04513			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	五島協働センター					
所在(町名・番地)	南区福島町242-1					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕			
	施設	南区・区民生活課	課長名 溝垣 達也			
設置根拠(法)	—					
条例	浜松市協働センター条例					
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
主な利用者	自治会・社会福祉協議会など地域住民、地域活動団体、小・中学校児童生徒等					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	8:30 ～ 21:30					
建物情報	総延床面積	2,401.33	土地面積	5,118.56		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	5,118.56	
	地上階数(主要建物)	4			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1982/4/1				
	経過年数(主要建物)	41				
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—	—		
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	2,653	2,127	1,969
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	310	428	304
	収入計(A)	2,963	2,555	2,273
支出(千円)	人件費	40,253	40,244	40,244
	物件費(委託料)	3,305	3,265	3,878
	維持補修費(修繕費)	1,434	1,554	3,470
	物件費(光熱水費)	2,085	1,819	1,763
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	47,077	46,882	49,355
行政コスト(B-A)		44,114	44,327	47,082
収支前年比		99.52	94.15	103.32
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		7,918	7,918	7,918
利用状況	利用コマ数/年	9,440	9,300	11,365
	利用可能コマ数/年	46,949	47,263	35,441
	施設利用者数/年	41,554	40,233	32,345
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	35	37	37
	蔵書数	1,455	1,624	1,958
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	161,835	51,791	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	浜松市五島協働センター及び附設体育館外壁・屋根改修工事	20,705	2013	受電設備改修工事	4,466
2018	ユニバーサルデザイン化整備工事	12,505	2011	エレベーター設置工事	36,146
2017	平成29年度 浜松市五島協働センター自動火災報知設備及び伊東用気圧検知器更新工事	5,396	2011	天文台望遠鏡改修工事	11,235
2016	給水設備改修工事	14,234	2011	体育館照明設備改修工事	3,045
2015	屋上防水改修工事	8,506	2008	天文台ドーム改修工事	17,280
2013	空調設備改修工事	34,688			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-045	南陽協働センター	生活	1.8
15-057	南の星小学校	生活	0.1
07-044	南の星放課後児童会	生活	0.1
08-045	南の星幼稚園	生活	0.1
14-059	浜松第17分団	コミュニティ	0.5
07-040	遠州浜子育て支援ひろば	生活	0.7
13-044	遠州浜団地	地域	1.0
13-042	遠州浜団地福祉住宅	地域	1.0
24-024	御給排水機場	—	1.3



基本情報	リストNo	03-046	施設コード	04513	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課			
	施設名	五島協働センター			施設	南区・区民生活課				
	人員数	正規職員(人)	3	会計年度任用職員(人)	5	再任用(人)	1			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。								
		主な業務内容	貸館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援							
		主な利用者	自治会・社会福祉協議会など地域住民、地域活動団体、小・中学校児童生徒等							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり需要は確保されている。							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズが増す							
		特記事項	生涯学習の拠点として必要不可欠な施設							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		地域ふれあい事業・4事業	2022	277	—	750				
			2021	253	—	486				
			2020	253	—	589				
					のべ募集人員	参加者数				
事業②		子ども講座・4講座	2022	88	58	95				
			2021	89	32	122				
			2020	105	40	62				
事業③		地域文化セミナー(女性学級含む)・10講座	2022	209	95	402				
			2021	160	144	229				
	2020		145	78	142					
事業④	生きがいづくり教室・8回	2022	67	20	171					
		2021	49	20	130					
		2020	44	30	66					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課	課題	施設の老朽化のため、不具合が発生しており、適切な修繕や改築が必要である。								
	対応策	施設の不具合などについては、適時、修繕工事を行っていく。また大規模な改修工事についても計画的に進めていく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	18,371	18,459	19,607	1人当たりのコスト(円)	1,062	1,102	1,456
	施設利用率(%)	20.1	19.7	32.1	1開館日当たりのコスト(円)	122,880	123,474	131,148
	1日当たり利用者(人)	116	112	90	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	2.4	2.3	1.9	1貸出冊当たりのコスト(円)	1,260,400	1,198,027	1,272,486
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-047	施設コード	04514	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	白脇協働センター			
所在(町名・番地)	南区寺脇町241			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕	
	施設	南区・区民生活課	課長名 溝垣 達也	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市協働センター条例			
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。			
主な利用者	自治会・老人クラブなど地域住民、社会教育関係団体、小・中学校児童生徒等			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:30 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	2,173.75	土地面積 4,597.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1985/4/1		
	経過年数(主要建物)	38		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費	210,510	—	210,510	
財源	国・県	35,000	—	35,000
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	175,510	—	175,510
特記事項	—			



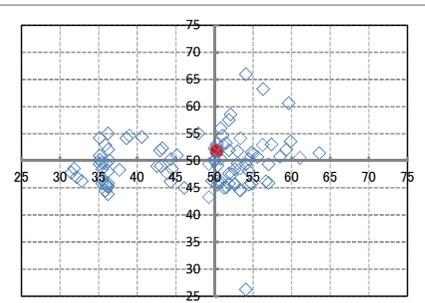
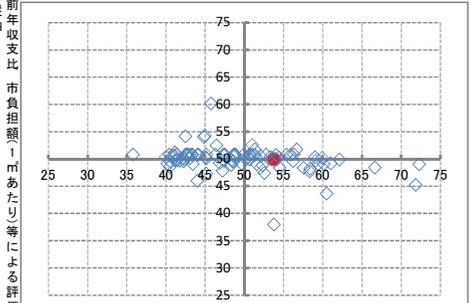
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	3,412	2,829	2,856
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	551	594	556
	収入計(A)	3,963	3,423	3,412
支出(千円)	人件費	28,000	28,000	28,000
	物件費(委託料)	3,265	3,265	3,201
	維持補修費(修繕費)	997	429	2,085
	物件費(光熱水費)	2,145	1,827	1,682
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	34,407	33,521	34,968	
行政コスト(B-A)		30,444	30,098	31,556
収支前年比		101.15	95.38	107.18
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		8,212	8,212	8,212
利用状況	利用コマ数/年	12,086	11,298	12,924
	利用可能コマ数/年	45,929	49,173	33,519
	施設利用者数/年	63,560	59,799	39,183
	開館日数/年	359	359	360
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	114	137
	蔵書数	—	3,501	3,496
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	192,188	39,362	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	外壁改修	13,003	2015	附設体育館吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	12,401
2022	屋根防水工事	9,022	2012	附設体育館床再生工事	4,200
2019	浜松市白脇協働センター屋上防水改修工事	11,252	2012	附設体育館照明更新工事	2,730
2018	ユニバーサルデザイン化整備工事	39,880	2011	空調設備改修工事(機械設備工事)	29,302
2016	敷地整備工事	2,430	2011	空調設備改修工事(電気設備工事)	16,498
2015	附設体育館他吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	36,893			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-080	江西会館	コミュニティ	1.8
03-029	南部協働センター	生活	1.8
同分類			
その他の分類			
08-042	白脇幼稚園	生活	0.0
07-045	しらわき放課後児童会	生活	0.2
15-053	白脇小学校	生活	0.2
14-017	南消防署白脇出張所・浜松第13分団	地域	0.3
26-001	中部浄化センター	—	1.0
13-015	法枝団地	地域	1.2
24-027	中田島排水機場	—	1.2
24-025	寺脇排水機場	—	1.4



基本情報	リストNo	03-047	施設コード	04514	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	白脇協働センター		施設	南区・区民生活課		
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	5	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)地域コミュニティとの関係強化				
		主な利用者	自治会・老人クラブなど地域住民、社会教育関係団体、小・中学校児童生徒等				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズが増す				
		特記事項	生涯学習の拠点として必要不可欠な施設				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		青少年健全育成事業・2講座	2022	119	590	344	
			2021	105	590	366	
			2020	105	586	262	
			2022	364	—	172	
事業②		地域ふれあい事業・2事業	2021	226	—	245	
			2020	184	—	483	
事業③		地域学習事業・3講座	2022	126	639	343	
			2021	285	569	388	
事業④		生きがいづくり教室事業・6回	2020	160	936	471	
	2022		102	400	309		
		2021	137	400	340		
		2020	63	640	380		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化のため、不具合が発生しており、適切な修繕や改築が必要である。					
	対応策	施設の不具合などについては、適時、修繕工事を行っていく。また大規模な改修工事についても計画的に進めていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	14,005	13,846	14,517	1人当たりのコスト(円)	479	503	805
	施設利用率(%)	26.3	23.0	38.6	1開館日当たりのコスト(円)	84,802	83,838	87,656
	1日当たり利用者(人)	177	167	109	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	3.3	3.9	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	264,018	230,336
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	<p>住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。</p>							

リストNo	03-048	施設コード	04515			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	新津協働センター					
所在(町名・番地)	南区新橋町910					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕			
	施設	南区・区民生活課	課長名 溝垣 達也			
設置根拠(法)	—					
条例	浜松市協働センター条例					
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
主な利用者	社会教育関係団体、地元の一般団体・指定団体、その他地域住民					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	8:30 ～ 21:30					
建物情報	総延床面積	2,159.42	土地面積	4,659.24		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	3,890.24	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	769.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1984/4/1				
	経過年数(主要建物)	39				
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	162,950	—	162,950		
	国・県	30,000	—	30,000		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	132,950	—	132,950			
特記事項	—					



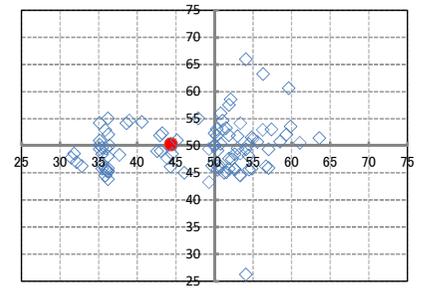
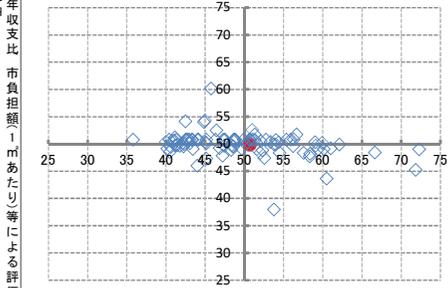
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	2,706	2,629	2,284
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	585	594	553
	収入計(A)	3,291	3,223	2,837
支出(千円)	人件費	28,800	28,800	28,800
	物件費(委託料)	3,278	3,278	3,201
	維持補修費(修繕費)	691	535	1,169
	物件費(光熱水費)	1,779	1,490	1,320
	物件費(借地料)	680	680	680
	支出計(B)	35,228	34,783	35,170
行政コスト(B-A)		31,937	31,560	32,333
収支前年比		101.19	97.61	105.98
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		5,805	5,805	5,805
利用状況	利用コマ数/年	12,218	11,636	10,100
	利用可能コマ数/年	28,506	38,671	37,333
	施設利用者数/年	49,229	47,117	41,604
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	163,886	20,055	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	受変電設備改修工事(工事・監理)	8,331	2015	附設体育館吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	11,338
2018	附設体育館床面改修工事(工事・監理)	5,724	2013	空調設備改修工事	30,640
2017	ユニバーサルデザイン化整備工事	34,252	2010	体育館照明設備改修工事	4,243
2017	ユニバーサルデザイン化整備工事駐車場整備	3,377			
2016	外壁改修工事	10,211			
2015	附設体育館吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	35,106			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-080	江西会館	コミュニティ	1.9
03-049	可美協働センター	生活	2.0
同分類			
その他の分類			
14-061	浜松第19分団	コミュニティ	0.3
07-042	なかよし第2放課後児童会	生活	0.4
15-052	新津小学校	生活	0.4
15-126	新津中学校	生活	0.5
08-018	可美保育園	生活	0.7
01-032	可美市民サービスセンター	生活	0.7
14-063	浜松第41分団	コミュニティ	0.8
05-013	新橋体育センター体育館	地域	0.9



基本情報	リストNo	03-048	施設コード	04515	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課			
	施設名	新津協働センター				施設	南区・区民生活課			
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	4	再任用(人)	1			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。								
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援							
		主な利用者	社会教育関係団体、地元一般団体・指定団体、その他地域住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				一定の利用者があり需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズが増す。				
		特記事項 地域づくり及び生涯学習の拠点として必要不可欠な施設。								
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		地域ふれあい事業・2事業	2022	356	—	1,888				
			2021	222	—	1,151				
			2020	210	—	1,367				
事業②		子ども講座・6講座	2022	160	76	153				
			2021	147	116	138				
			2020	179	126	179				
事業③		地域文化セミナー・8講座	2022	175	95	386				
			2021	179	156	234				
			2020	108	68	127				
事業④	ヒューマンセミナー・1講座	2022	85	8	70					
		2021	71	14	121					
		2020	82	13	127					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化のため、不具合が発生しており、適切な修繕や改築が必要である。								
	対応策	施設の不具合などについては、随時、修繕工事を行っていく。また大規模改修工事については令和6年度に実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	14,790	14,615	14,973	1人当たりのコスト(円)	649	670	777
	施設利用率(%)	42.9	30.1	27.1	1開館日当たりのコスト(円)	88,961	87,911	90,064
	1日当たり利用者(人)	137	131	116	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。							

リストNo	03-049	施設コード	04516	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	可美協働センター			
所在(町名・番地)	南区増楽町1723-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕	
	施設	南区・区民生活課	課長名 溝垣 達也	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市協働センター条例			
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。			
主な利用者	自治会など地域住民、社会教育関係団体55団体、可美小・中学校児童生徒等			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:30 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	2,028.11	土地面積 7,089.34	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1996/4/1		
	経過年数(主要建物)	27		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	282,227	—	282,227
	国・県	128,000	—	128,000
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	154,227	—	154,227	
特記事項	—			



項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	3,938	2,997	3,162
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	586	457	572
	収入計(A)	4,524	3,454	3,734
支出(千円)	人件費	20,400	20,400	20,400
	物件費(委託料)	3,173	3,163	3,072
	維持補修費(修繕費)	735	4,481	1,059
	物件費(光熱水費)	2,784	2,462	2,095
	物件費(借地料)	922	1,122	1,427
	支出計(B)	28,014	31,628	28,053
行政コスト(B-A)	23,490	28,174	24,319	
収支前年比	83.37	115.85	95.49	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	14,427	14,443	14,447	
利用状況	利用コマ数/年	14,229	11,825	10,343
	利用可能コマ数/年	39,079	35,890	39,621
	施設利用者数/年	49,852	38,459	40,027
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	248,653	266,089	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	令和3年度 浜松市可美協働センター附設体育館床面改修工事	4,998			
2018	ユニバーサルデザイン化整備工事	45,108			
2016	空調改修工事	31,600			
2015	附設体育館吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	34,187			
2015	附設体育館吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	11,492			
2009	下水道切替工事	4,870			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-026	佐鳴台協働センター	生活	1.1
03-038	入野協働センター	生活	1.4
03-048	新津協働センター	生活	2.0
同分類			
その他の分類			
10-010	ふれあい交流センター可美	地域	0.4
07-041	可美希望学級第2放課後児童会	生活	0.6
15-051	可美小学校	生活	0.6
08-041	可美幼稚園	生活	0.6
15-045	入野小学校	生活	0.7
07-033	めだか放課後児童会	生活	0.7
15-125	可美中学校	生活	0.8
05-014	可美公園体育館、水泳場、弓道場	地域	0.9



基本情報	リストNo	03-049	施設コード	04516	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課			
	施設名	可美協働センター			施設	南区・区民生活課				
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	1			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。								
		主な業務内容	貸館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援							
		主な利用者	自治会など地域住民、社会教育関係団体55団体、可美小・中学校児童生徒等							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				一定の利用者があり需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズが増す				
		特記事項 地域づくり及び生涯学習の拠点として必要不可欠な施設								
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		地域ふれあい事業・6事業	2022	393	—	1,526				
			2021	393	—	840				
			2020	383	—	709				
事業②		浜松ヒューマンセミナー	2022	70	120	113				
			2021	70	150	118				
			2020	中止	中止	中止				
事業③		子ども講座・6講座	2022	104	150	140				
			2021	131	196	187				
			2020	132	220	153				
事業④	生きがいづくり教室・7回	2022	32	140	102					
		2021	41	240	74					
		2020	56	240	131					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	施設の老朽化のため、不具合が発生しており、適切な修繕や改築が必要である。								
	対応策	施設の不具合などについては、適時、修繕工事を行っていく。また大規模な改修工事についても計画的に進めていく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合	—	—	—	—						
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	11,582	13,892	11,991	1人当たりのコスト(円)	471	733	608
	施設利用率(%)	36.4	32.9	26.1	1開館日当たりのコスト(円)	65,432	78,479	67,741
	1日当たり利用者(人)	139	107	111	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>縦軸 前年収支比等による評価 横軸 建物の状況(耐震性、築年数等)による評価</p>				<p>縦軸 前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価 横軸 利用状況等による評価</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-050	施設コード	04517			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	三方原協働センター					
所在(町名・番地)	北区三方原町1179-5					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕			
	施設	北区・まちづくり推進課	課長名 佐藤 卓			
設置根拠(法)	—					
条例	浜松市協働センター条例					
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
主な利用者	地域活動団体、一般・指定団体、地域住民等					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	8:30 ～ 21:30					
建物情報	総延床面積	2,065.04	土地面積	5,356.11		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	5,113.11	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	243.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.40		代表地目(現況地目)		宅地
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1980/4/1				
経過年数(主要建物)	43					
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	316,790	—	316,790		
	国・県	26,000	—	26,000		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	290,790	—	290,790			
特記事項	—					



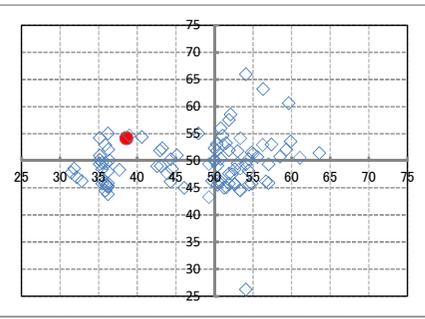
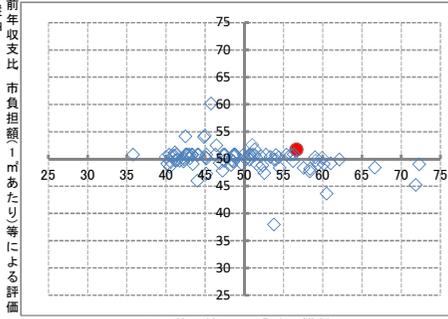
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	4,114	4,151	3,750
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	839	755	751
	収入計(A)	4,953	4,906	4,501
支出(千円)	人件費	30,200	37,200	37,200
	物件費(委託料)	3,488	3,418	3,260
	維持補修費(修繕費)	664	2,487	2,005
	物件費(光熱水費)	3,661	3,143	2,986
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	38,013	46,248	45,451
行政コスト(B-A)		33,060	41,342	40,950
収支前年比		79.97	100.96	104.18
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		13,475	13,475	13,475
利用状況	利用コマ数/年	14,333	12,059	12,393
	利用可能コマ数/年	31,774	30,504	26,500
	施設利用者数/年	73,845	82,202	56,152
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	346	444	244
	蔵書数	2,819	2,830	2,829
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	210,101	150,981	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	駐車場整備工事	12,608	2007	大規模改修工事(機械設備工事)	45,675
2018	外壁及び屋根改修工事	18,496	2007	大規模改修工事(電気設備工事)	42,000
2015	附設体育館床面改修工事(建築工事)	4,216	2006	館駐車場拡張工事	13,965
2015	附設体育館吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	5,848			
2015	附設体育館吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	15,721			
2007	大規模改修工事(建築工事)	82,740			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-098	三方原会館	コミュニティ	1.1
03-068	葵西会館	コミュニティ	1.6
同分類			
その他の分類			
07-053	とよおか放課後児童会	生活	0.3
15-073	豊岡小学校	生活	0.5
08-057	豊岡幼稚園	生活	0.5
13-058	豊岡団地	地域	0.5
15-131	三方原中学校	生活	0.7
14-021	中消防署曳馬野出張所	地域	0.8
15-069	三方原小学校	生活	0.8
07-072	みかた放課後児童会	生活	0.8

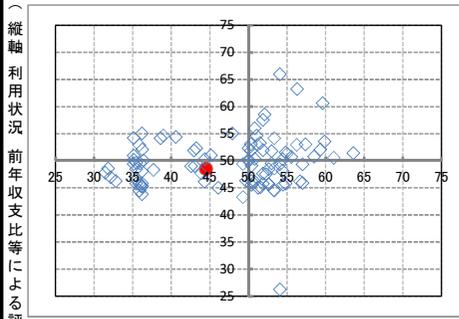
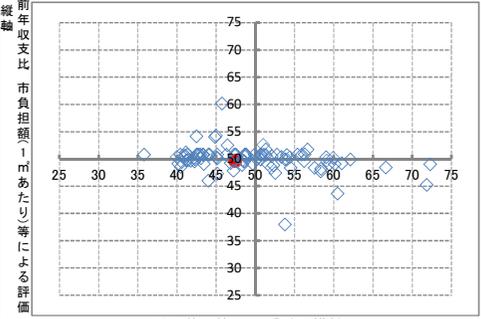


基本情報	リストNo	03-050	施設コード	04517	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	三方原協働センター			施設	北區・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	7	再任用(人)	1
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくりの活動の支援・市民サービスセンター業務				
		主な利用者	地域活動団体、一般・指定団体、地域住民等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 一定の利用があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 高齢化の進展により、身近にある施設としてさらにニーズが増す。						
	特記事項 地域の生涯学習の拠点として必要不可欠な施設。						
	主要事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		浜松ヒューマンセミナー(1講座6回)	2022	95	216	64	
			2021	70	150	172	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②		子ども講座(11講座17回)、アクティブシニア講座(9講座9回)、フレンドリー女性学級(9講座10回)、地域文化セミナー(8講座15回) ※2021年度までは直営。2022年度からは業務委託であり、事業費は委託料に含んでいる。	2022	352	1,023	1,176	
			2021	287	874	776	
			2020	357	926	983	
事業③		地域ふれあいフェスタ(子どもフェスタ、協働センター清掃作業、グラウンドゴルフ決勝大会、協働センターまつり) ※2021年度までは直営。2022年度からは業務委託であり、事業費は委託料に含んでいる。	2022	212	—	789	
			2021	51	—	135	
	2020		64	—	137		
事業④	学習成果(4講座11回)、大学連携(1講座1回) その他の生涯学習推進事業・その他の事業※参加者数は上記以外の合計数を記入。 ※大学連携は、2021年度までは直営。2022年度からは業務委託であり、事業費は委託料に含んでいる。	2022	18	135	265		
		2021	59	330	217		
2020	32	70	171				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	昭和55年に建設し平成19年には大規模改修工事を実施しているが、協働センター壁の亀裂及び体育館の豪雨時雨漏り(結露)等、経年劣化した箇所がいくつか見受けられ、浄化槽や排煙設備などは特に劣化が目立つ。体育館は、フットサルや一輪車といった建設当初には想定していなかったスポーツ種目が増加しているため、内壁や床などの劣化が著しい。また、三方原地区は広範囲であることから、利用者の多くは自家用車で来所するため、駐車スペースが不足している。					
	対応策	建物修繕費が限られているため、毎年、対象箇所を限定して修繕工事を実施している。また、駐車場については、利用団体に乗り合わせでの来所を呼び掛けている。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
民間移管		—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—		
記入欄	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、令和4年度から施設の管理・運営を地域の希望に応じて地域団体に委託している。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	16,009	20,020	19,830	1人当たりのコスト(円)	448	503	729
	施設利用率(%)	45.1	39.5	46.8	1開館日当たりのコスト(円)	92,089	115,159	114,067
	1日当たり利用者(人)	206	229	156	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	12.3	15.7	8.6	1貸出冊当たりのコスト(円)	95,549	93,113	167,828
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								



基本情報	リストNo	03-051	施設コード	04518	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	都田協働センター			施設	北區・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	4	再任用(人)	1
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくりの活動の支援・市民サービスセンター業務				
		主な利用者	地域活動団体、一般・指定団体、地域住民等				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用があり、需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	高齢化の進展により、身近にある施設としてさらにニーズが増す。				
		特記事項	地域の生涯学習の拠点として必要不可欠な施設。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		浜松ヒューマンセミナー(1講座・6回)	2022	63	16	16	
			2021	—	—	—	
			2020	63	16	16	
			2022	309	1,310	1,021	
事業②	子ども講座(7講座・7回)、アクティブシニア講座(8講座・8回)、女性学級(8講座・8回)、子育て教室(21講座・21回)、地域文化セミナー(5講座・11回)	2021	491	1,497	827		
		2020	466	1,229	679		
		2022	306	—	153		
事業③	地域ふれあいフェスタ(協働センター夏まつり・シニア輪投げ大会・グラウンドゴルフ大会・草刈り・協働センターまつり) ※協働センター夏まつり・協働センターまつりは参加協力団体登録者数を記入。その他の事業は参加者数を記入。	2021	61	—	107		
		2020	53	—	123		
		2022	—	—	308		
事業④	その他の生涯学習推進事業・その他の事業(運営委員会・体育館一般開放・学習成果活用事業・浜松市と大学との連携事業・共催事業) ※参加者数は参加者数を合計した数を記入。	2021	—	—	183		
		2020	—	—	175		
		2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	平成28年度にユニバーサルデザイン化整備工事、平成30年度に公共建築課による施設長寿命化のための屋根防水工事を実施している。また体育館に結露が発生し利用に影響することがある。建築後約40年が経過しその他の施設設備の改修、更新が必要となる。					
	対応策	自主点検による修繕の必要箇所や12条点検等における指摘事項等を参考に中長期的な修繕計画を検討し、施設設備の改修・更新を進めていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
記入欄	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			
民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	18,090	17,831	17,621	1人当たりのコスト(円)	1,090	1,105	1,233
	施設利用率(%)	17.8	17.0	23.6	1開館日当たりのコスト(円)	92,203	90,886	89,811
	1日当たり利用者(人)	85	82	73	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	0.2	1.0	1.1	1貸出冊当たりのコスト(円)	6,620,200	1,483,091	948,294
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-052	施設コード	01886
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	中瀬南部緑地会館		
所在(町名・番地)	浜北区中瀬4485		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	公園
所管課	本庁	都市整備部公園管理事務所	課長名 高林 繁
	施設	都市整備部公園管理事務所	課長名 高林 繁
設置根拠(法)	都市公園法		
条例	浜松市都市公園条例		
設置目的	都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること(都市公園法第1条)		
主な利用者	一般		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2019/04/01 ~		
管理者名	(一財)浜松公園緑地協会		
開館時間	9:00 ~ 17:00		
建物情報	総延床面積	464.69	土地面積 14,424.43
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2001/2/28	
	経過年数(主要建物)	22	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	—	—
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	管理運営費については、リストNo.17-8美園中央公園に一括計上。		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	718	571
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	430	448
	収入計(A)	0	1,148	1,019
支出(千円)	人件費	0	5,689	5,435
	物件費(委託料)	0	1,608	1,632
	維持補修費(修繕費)	0	698	1,637
	物件費(光熱水費)	0	1,536	1,308
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	9,531	10,012
行政コスト(B-A)		0	8,383	8,993
収支前年比		0.00	93.22	145.31
(参考)指定管理料		0	8,983	8,881
(参考)減価償却費		3,767	3,767	3,767
利用状況	利用コマ数/年	2,426	2,289	—
	利用可能コマ数/年	7,934	7,934	—
	施設利用者数/年	6,283	7,235	—
	開館日数/年	308	308	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	12	54,970	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	外壁改修	7,014			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-055	中瀬協働センター	生活	1.3
20-011	浜北清掃センター	地域	0.2
07-074	中瀬パンサークラブ	生活	1.3
15-078	中瀬小学校	生活	1.3
08-066	中瀬幼稚園	生活	1.3
14-088	北浜東部分団本沢合	コミュニティ	1.5
14-089	浜北北部分団中瀬	コミュニティ	1.8
15-140	北浜東部中学校	生活	2.0



基本情報	リストNo	03-052	施設コード	01886	所管課	本庁	都市整備部公園管理事務所
	施設名	中瀬南部緑地会館		施設	都市整備部公園管理事務所		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	都市公園・緑地の整備					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること(都市公園法第1条)					
		主な業務内容	貸館(ホール・会議室)業務。自主事業				
		主な利用者	一般				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		利用者の多くが一般利用者であり、ニーズに大きな変化はないと考える。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業②	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	施設・設備の老朽化により、故障の発生や修繕が必要な箇所が多くなってきている。					
	対応策	施設・設備の老朽化により、故障の発生や修繕が必要な箇所が多くなってきているが、市民サービスの低下や貸館業務の支障にならないよう計画的に改修工事や修繕を行う必要がある。可能な限り指定管理者により修繕・補修等を行っているが、引き続き、民間企業のノウハウ等を最大限に活用し、質の高い公園の提供により、利用者が気持ちよく施設を利用できるようにして、公園利用者の拡大や費用対効果の向上に努める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理者制度導入施設であり、ニーズにあった自主事業の展開など、公園としての公用発揮、有効活用の推進に努める。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	18,040	19,353	1人当たりのコスト(円)	0	1,159	—
	施設利用率(%)	30.6	28.9	—	1開館日当たりのコスト(円)	0	27,218	—
	1日当たり利用者(人)	20	23	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。更新時には、施設設置の経緯や利用状況を踏まえ、統廃合も検討する。								

リストNo	03-053	施設コード	04519			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	北浜南部協働センター					
所在(町名・番地)	浜北区寺島2946					
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕			
	施設	浜北区・まちづくり推進課	課長名 山本 佳弘			
設置根拠(法)	—					
条例	浜松市協働センター条例					
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習学習の推進を図る。					
主な利用者	社会教育関係団体、サークル活動団体(一般団体)、地域住民、各種地域団体(自治会等)					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	8:30～21:30(月曜日は17:15まで)					
建物情報	総延床面積	1,128.24	土地面積	3,600.75		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	2,390.75	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	1,210.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		代表地目(現況地目)		宅地
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1996/3/18				
	経過年数(主要建物)	27				
用途地域	市街化調整区域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—			
特記事項	—					



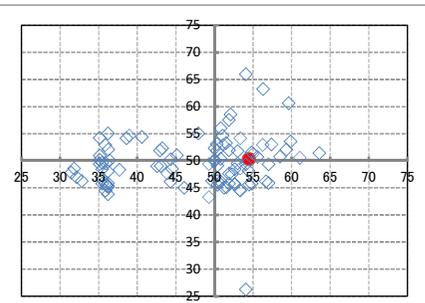
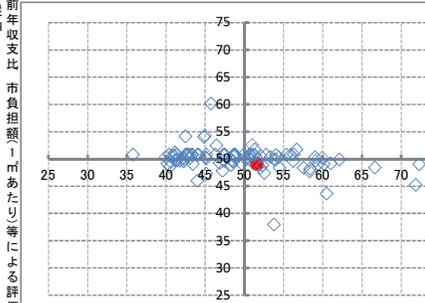
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	1,844	1,655	1,396
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	483	146	352
	収入計(A)	2,327	1,801	1,748
	支出(千円)	人件費	23,200	23,200
物件費(委託料)		3,608	3,567	3,584
維持補修費(修繕費)		803	154	386
物件費(光熱水費)		2,513	2,125	1,920
物件費(借地料)		997	997	997
支出計(B)		31,121	30,043	30,887
行政コスト(B-A)	28,794	28,242	29,139	
収支前年比	101.95	96.92	101.18	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	8,961	8,961	8,961	
利用状況	利用コマ数/年	7,106	6,226	5,486
	利用可能コマ数/年	29,029	28,226	26,664
	施設利用者数/年	32,121	35,828	26,832
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	325	325	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	94,435	159,535	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	公民館外壁・屋根改修工事	25,736			
2019	浜松市北浜南部協働センターユニバーサルデザイン化整備工事	10,755			
2016	空調設備改修工事	38,967			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-015	なゆた・浜北(浜北区役所部分以外)	地域	1.2
03-005	浜北文化センター	市域	1.4
03-034	笠井協働センター	生活	1.8
03-054	浜名協働センター	生活	1.8
07-057	北浜南たんぼぼクラブ	生活	0.1
15-082	北浜南小学校	生活	0.1
08-070	北浜南幼稚園	生活	0.5
16-011	浜北学校給食センター	地域	0.6
13-066	高畑団地	地域	0.7
15-081	北浜小学校	生活	0.9
14-150	北浜分団・北浜小学校放課後児童会複合施設(分団庁舎)	コミュニティ	0.9
07-083	浜北第3分団・北浜小学校放課後児童会複合施設(児童会)	生活	0.9



基本情報	リストNo	03-053	施設コード	04519	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	北浜南部協働センター				施設	浜北区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図る。					
		主な業務内容	貸館業務、自主事業(講座等の企画・開催)、地域づくり活動の支援、住民票等の発行業務				
		主な利用者	社会教育関係団体、サークル活動団体(一般団体)、地域住民、各種地域団体(自治会等)				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		開館25年を経過し、地元に着し、協働センター化と併せニーズは増加している。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		住民の高齢化により身近な施設として新たなニーズが見込まれる。				
	特記事項		地域住民等の活動拠点として定着し、不可欠な施設である。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		市民スクール(講座数:10講座・回数計50回) ※のべ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計 ※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2022	354	120	124	
			2021	340	120	116	
			2020	77	22	21	
			2022	70	12	12	
事業②	浜松ヒューマンセミナー(講座数:1講座、回数:7回) ※のべ募集人数は講座の募集定員 ※参加人は、講座の受講者数 R2年度はコロナウイルス感染拡大防止のため中止	2021	53	12	7		
		2020	—	—	—		
		2022	225	—	225		
事業③	地域ふれあい事業 ※参加者数、協働センターまつり参加協力団体登録者数 コロナウイルス感染拡大防止のためR2年度は中止、R3年度は代替として「発表・常設成果展」を開催。	2021	—	—	194		
		2020	—	—	—		
事業④	子ども向け講座(講座数:3講座・回数計19回) ※のべ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計 ※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2022	455	282	207		
		2021	286	219	213		
		2020	44	124	81		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	①立地が駅から遠く自家用車での来所が大半のため、利用が重なりと駐車場が不足する。②開館25年を超え、設備不良や故障が突発に発生し予定外の修繕を行うことが増えている。					
	対応策	①利用が重なる日には駐車場が満車になる事象が毎週のように発生しており、駐車場のあり方が検討課題である。②設備などの定期点検を実施し、可能な限り不良箇所の早期発見に努め、計画的な修繕、改修を行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
民生導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			
民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	25,521	25,032	25,827	1人当たりのコスト(円)	896	788	1,086	
	施設利用率(%)	24.5	22.1	20.6	1開館日当たりのコスト(円)	80,206	78,669	81,167	
	1日当たり利用者(人)	89	100	75	1定員当たりのコスト(円)	88,597	86,898	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
		個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりに関しては重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。									

施設カルテ 2023

リストNo	03-054	施設コード	04520	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	浜名協働センター			
所在(町名・番地)	浜北区小松2789			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕	
	施設	浜北区・まちづくり推進課	課長名 山本 佳弘	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市協働センター条例			
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図る			
主な利用者	地区住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:30～21:30(月曜日は17:15まで)			
建物情報	総延床面積	2,087.65	土地面積 5,533.79	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	うち所有面積	5,533.79		
	うち借地面積	0.00		
	代表地目(現況地目)	学校用地		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	—	—	—
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	2,754	2,453	1,853
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	191	168	207
	収入計(A)	2,945	2,621	2,060
	支出(千円)	人件費	22,400	22,400
	物件費(委託料)	3,688	3,611	3,567
	維持補修費(修繕費)	560	831	888
	物件費(光熱水費)	2,270	2,140	1,862
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	28,918	28,982	28,717
	行政コスト(B-A)	25,973	26,361	26,657
	収支前年比	98.53	98.89	99.40
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	10,013	10,013	10,013
利用状況	利用コマ数/年	5,472	5,223	8,156
	利用可能コマ数/年	30,571	30,958	32,637
	施設利用者数/年	46,875	55,603	31,990
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	283,188	84,477	—	

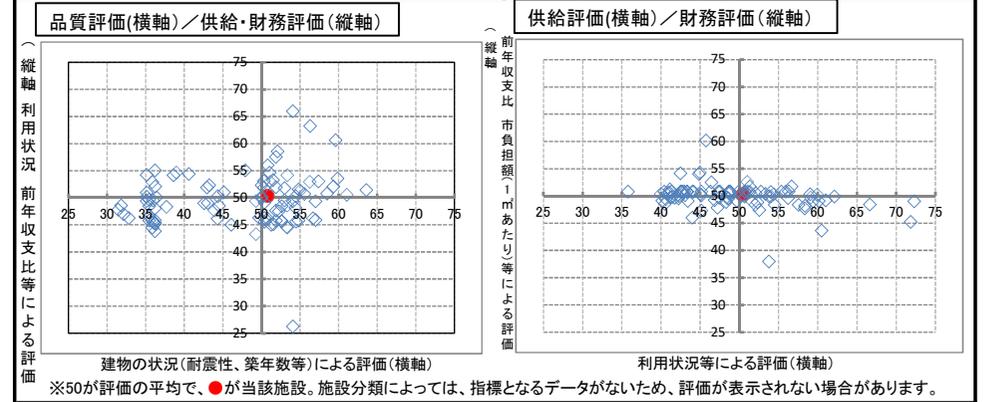
年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	外壁改修	15,378	2014	空調設備改修工事	26,164
2022	屋根防水工事	10,848	2011	冷暖房機台体漏洩修繕及び付属機器取替工事	3,460
2020	浜松市浜名協働センター料理教室調理台取替工事	10,145			
2017	ユニバーサル整備工事・屋上防水改修工事	42,833			
2017	屋根防水工事	7,044			
2015	駐車場舗装修繕工事	4,941			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-015	なゆた・浜北(浜北区役所部分以外)	地域	1.2
03-005	浜北文化センター	市域	1.4
03-053	北浜南部協働センター	生活	1.8
03-035	積志協働センター	生活	2.0
11-009	浜北障害者生活介護施設光の園	市域	0.3
08-063	小松幼稚園	生活	0.4
14-085	浜名分団小松	コミュニティ	0.5
15-080	浜名小学校	生活	0.7
07-062	浜名第1ビーパークラブ	生活	0.7
10-003	ふれあい交流センター竜西	地域	1.1
08-073	平口幼稚園	生活	1.1
01-021	浜北区役所	地域	1.2



基本情報	リストNo	03-054	施設コード	04520	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	浜名協働センター				施設	浜北区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図る					
		主な業務内容	各種講座の開催業務、貸館業務、市民サービス(証明発行等)業務				
		主な利用者	地区住民				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢者や子供の数が増加傾向にあり、講座のニーズも変化していく可能性がある。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		「市民スクール」、「ヒューマンセミナー」開催事業(講座数:9講座、回数45回) ※のべ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計 ※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2022	357	204	207	
			2021	406	123	119	
			2020	112	41	41	
			2022	143	74	57	
事業②		こども講座開催事業(講座数:5講座、講座回数13回) ※のべ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計 ※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2021	151	113	101	
			2020	70	40	40	
事業③		生きがい作り教室事業(講座数:2講座、講座回数:12回) ※延べ募集人数は、募集定員 ※参加者数は、受講者数	2022	60	40	40	
			2021	46	25	25	
事業④		芸術文化教室(講座数:1講座、講座回数:20回) ※延べ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計 ※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2020	56	45	33	
	2022		154	20	20		
		2021	154	20	20		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	当センターは、建築後30年以上経過しており、施設や備品が老朽化している。平成31年度から旧浜名中学校の体育館を引き継ぎ、協働センター付設体育館として管理することとなったが、建築後30年以上経過しており、センター同様、老朽化している。					
	対応策	施設や設備の定期点検を実施し、不良箇所が生じた場合は、計画的に修繕していきたい。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

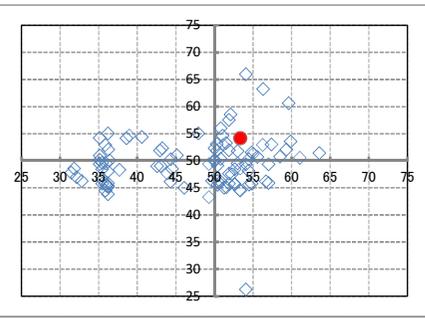
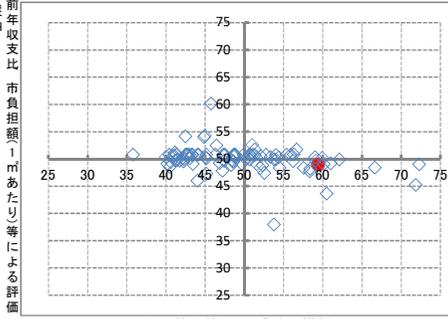
参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	12,441	12,627	12,769	1人当たりのコスト(円)	554	474	833
	施設利用率(%)	17.9	16.9	25.0	1開館日当たりのコスト(円)	72,348	73,429	74,253
	1日当たり利用者(人)	131	155	89	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>					
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>					
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりに関する活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。							

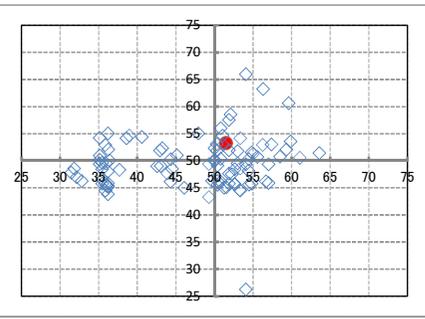
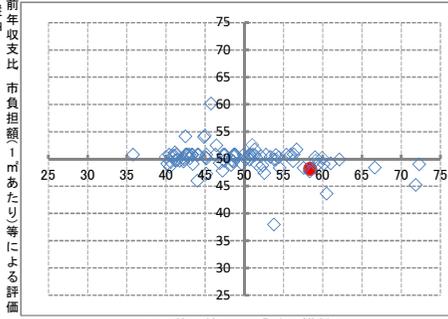


基本情報	リストNo	03-055	施設コード	04521	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	中瀬協働センター				施設	浜北区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	4	再任用(人)	1
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図る					
		主な業務内容	自主事業(講座の企画・開催)、貸館業務、地域づくり活動の支援、住民票等発行、届出業務				
		主な利用者	地域活動団体、一般団体(同好会)、指定団体、減免団体、一般団体				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 貸館業務としては一定の利用がある。営利の利用もある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 少子高齢化により高齢者の利用が増え、児童の利用が減ると思われる。						
	特記事項 —						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		市民スクール(講座数:7講座、回数41回)※のべ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計 ※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2022	333	90	90	
			2021	329	74	74	
			2020	147	35	35	
			2022	42	56	56	
事業②		子ども講座(講座数:5講座、回数5回)※のべ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計 ※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2021	45	60	60	
			2020	14	24	24	
事業③		浜松ヒューマンセミナー(講座数:1講座、回数:10回) ※のべ募集人数は、講座の募集定員 ※参加者数は、講座の受講者数	2022	70	15	15	
			2021	70	15	15	
			2020	70	15	15	
事業④	生きがい教室(講座数:7講座、回数:7回)※のべ募集人数は、生きがい教室の募集定員 ※参加者数は、講座の受講者数	2022	53	20	20		
		2021	35	25	24		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	建築後、25年以上経過しており、施設全体が老朽化しているため、毎年修繕工事が多く発生している。また、利用団体が偏る日・時間帯には駐車場が不足する場合がある。					
	対応策	平成27年度にユニバーサルデザイン化整備工事として、UD対応多機能トイレ、エレベータなどを新規に設置し、利便性が向上した。平成28年度後半には、冷暖房設備の改修工事を実施し、一括管理の空調から個別空調へ更新した。また、併せて外壁及び屋上防水改修工事を実施し、施設の延命化を図った。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	29,113	29,088	29,736	1人当たりのコスト(円)	612	862	2,172	
	施設利用率(%)	15.5	13.3	13.6	1開館日当たりのコスト(円)	91,064	90,986	92,756	
	1日当たり利用者(人)	149	106	43	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針		利用者の圏域毎の方向性 地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。				利用用途別分類毎の方向性 今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。			
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
		住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。							



基本情報	リストNo	03-056	施設コード	04522	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課			
	施設名	鹿玉協働センター			施設	浜北区・まちづくり推進課				
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	4	再任用(人)	1			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。								
		主な業務内容	貸館業務、自主事業(講座の企画、開催)、地域づくり活動の支援、住民票等発行・届出業務							
		主な利用者	地域住民、地域活動団体等(40団体)、近隣の児童・生徒							
	設置目的の継続性・妥当性									
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			地域の高齢化が進み、身近な施設とし重要性が増している。						
	特記事項			地域づくり、生涯学習施設として必要な施設。						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		市民スクール(地域文化・各種講座)(講座数:8講座、回数:計37回)※のべ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計 ※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2022	308	92	88				
			2021	308	103	84				
			2020	111	56	41				
			2022	66	61	44				
事業②	こども講座(講座数:9講座、回数:計16回)※のべ募集人数は、各講座ごとの募集定員の計 ※参加者数は、各講座ごとの受講者数の計	2021	121	102	64					
		2020	14	48	27					
事業③	浜松ヒューマンセミナー(講座数:1講座、回数:8回)※のべ募集人数は、講座の募集定員 ※参加者数は、講座の受講者数	2022	56	16	16					
		2021	—	—	—					
事業④	地域ふれあい事業 ※参加者数は、協働センターまつり参加協力団体参加者数	2020	70	20	18					
		2022	225	—	468					
		2021	—	—	—					
		2020	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課	課題	築35年が経過し、施設・設備等の老朽化が進んでおり、修繕箇所等はその都度対応しているが、今後、全体的な修繕が必要となっている。								
	対応策	平成26年度の空調改修工事、平成27年度のユニバーサルデザイン整備工事により個別空調やエレベーター等の施設整備が進んでいるが、施設の老朽化に伴い修繕箇所が増えている。このため、今後も施設長寿命化事業による改修や定期点検の結果を踏まえた計画的な修繕を実施していきたい。								
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
民間移管		—	—	—	—					
管理主体変更		—	—	—	—					
記入欄	代替サービス	—	—	—	—					
	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—						
民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	37,572	36,533	32,537	1人当たりのコスト(円)	809	911	2,092	
	施設利用率(%)	13.7	11.6	12.5	1開館日当たりのコスト(円)	96,253	93,593	83,357	
	1日当たり利用者(人)	119	103	40	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用用途別分類毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化が進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
		個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民生導入	(1)維持管理		—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。									

リストNo	03-057	施設コード	04266	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	浜北地域活動・研修センター			
所在(町名・番地)	浜北区於呂2829-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	産業部産業振興課 雇用・労政担当	課長名 田中 言彦	
	施設	浜北区・まちづくり推進課	課長名 山本 佳弘	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市浜北地域活動・研修センター条例			
設置目的	地域住民のコミュニティ活動の推進並びに職業能力及び教養の向上を図る。			
主な利用者	企業等団体、サークル活動利用者、地域住民、自治会等各種地域団体			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:30 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	1,751.46	土地面積 3,832.94	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		うち所有面積 2,360.94
	耐震性能(1s値)(主要建物)	0.88		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 1,472.00
	建築年月日(主要建物)	1980/12/29		
	経過年数(主要建物)	42		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



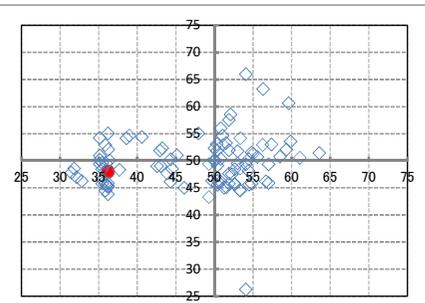
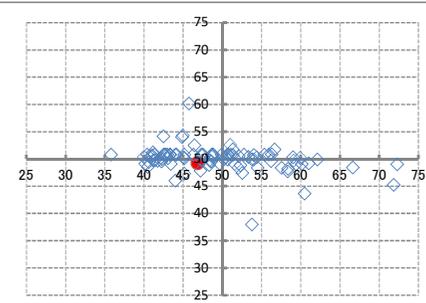
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	1,504	1,271	991
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	410	382	546
	収入計(A)	1,914	1,653	1,537
支出(千円)	人件費	22,400	22,400	24,000
	物件費(委託料)	3,003	2,989	2,936
	維持補修費(修繕費)	2,535	738	1,044
	物件費(光熱水費)	2,169	1,778	1,637
	物件費(借地料)	628	630	630
支出計(B)	30,735	28,535	30,247	
行政コスト(B-A)		28,821	26,882	28,710
収支前年比		107.21	93.63	103.92
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,346	1,346	1,346
利用状況	利用コマ数/年	4,977	4,229	3,986
	利用可能コマ数/年	32,032	29,160	27,259
	施設利用者数/年	23,223	20,613	16,618
	開館日数/年	309	308	307
	施設定員数	567	567	567
	図書貸出冊数/年	—	72	75
	蔵書数	—	2,996	2,996
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	80,404	45,023	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2018	ユニバーサル化整備工事	8,580			
2014	改修工事	38,138			
2012	受変電設備改修工事	9,153			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-055	中瀬協働センター	生活	1.4
14-024	浜北消防署赤佐出張所	地域	0.5
15-077	赤佐小学校	生活	0.6
07-058	赤佐タイガークラブ	生活	0.6
08-072	赤佐幼稚園	生活	0.6
15-137	浜北北部中学校	生活	0.7
14-090	浜北北部分団赤佐	コミュニティ	0.7
13-067	根堅団地	地域	0.9
08-065	赤佐西幼稚園	生活	1.0



基本情報	リストNo	03-057	施設コード	04266	所管課	本庁	産業部産業振興課 雇用・労政担当
	施設名	浜北地域活動・研修センター				施設	浜北区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	だれもが働きやすい労働・雇用環境の整備					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		地域住民のコミュニティ活動の推進並びに職業能力及び教養の向上を図る。					
		主な業務内容	貸館業務・自主事業(講座等の開催)				
		主な利用者	企業等団体、サークル活動利用者、地域住民、自治会等各種地域団体				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			多少の減少は見られるが一定の利用者を確保している。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			高齢化等の社会的変化はあるが、施設需要には大きな変動は無いと見込まれる。			
	特記事項			企業等の研修の場としても重要な役割を果たしている			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況 のべ募集人員 参加者数	
事業①		パソコン教室「パソコン基礎」7日、「ワード基礎」11日、「エクセル基礎」11日、「ワード応用」7日、「エクセル応用」7日	2022	770	50	330	
			2021	770	50	455	
			2020	770	60	405	
事業②		IT学習支援事業 土曜日の午前中41日間の開催。事前の申込不要	2022	72	—	188	
			2021	78	—	301	
			2020	62	—	406	
事業③		宅建試験対策講座 6月～9月の日曜日に13日開催	2022	140	23	256	
			2021	140	26	290	
			2020	—	—	—	
事業④	簿記3級対策講座 7月～10月の水曜日に13日開催	2022	91	23	197		
		2021	91	13	149		
		2020	91	10	117		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	施設・設備の老朽化が進んでおり、修繕箇所等はその都度対応しているが、今後、全体的な修繕が必要となっている。					
	対応策	平成27年度に改修工事、平成30年度にユニバーサルデザイン化整備工事などを行ったが、施設の老朽化に伴い修繕箇所が増えている。 定期点検結果を踏まえ計画的な修繕を実施する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	当館は市民サービスセンター(赤佐)併設のため難しい。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	16,455	15,348	16,392	1人当たりのコスト(円)	1,241	1,304	1,728
	施設利用率(%)	15.5	14.5	14.6	1開館日当たりのコスト(円)	93,272	87,279	93,518
	1日当たり利用者(人)	75	67	54	1定員当たりのコスト(円)	50,831	47,411	50,635
	図書貸出率(%)	—	2.4	2.5	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	373,361	382,800
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性					※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。		
		利用用途別分類毎の方向性	公共施設等総合管理計画より抜粋		今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。			
個別方針	1資産の見直し		—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当施設は、産業施策の他、住民サービスを提供する複合的施設であるため、適切な維持管理に努める。								



基本情報	リストNo	03-058	施設コード	04523	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課			
	施設名	二俣協働センター				施設	天竜区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	5	会計年度任用職員(人)	5	再任用(人)	1			
	複合施設	天竜図書館								
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。								
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援							
		主な利用者	地域活動団体、一般団体							
	設置目的の継続性・妥当性									
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			高齢化の進展により身近にある施設として欠かせないものとなる。						
	特記事項			生涯学習の拠点として必要不可欠な施設。						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		地域ふれあいフェスタ事業(二俣協働センターまつり):中止	2022	—	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—		
			2020	—	—	—	—	—		
事業②		こども講座(4講座・4回)	2022	49	100	117	—	—	—	
			2021	39	95	93	—	—		
			2020	28	50	41	—	—		
事業③		ヒューマンセミナー(1講座・8回)	2022	56	160	139	—	—	—	
			2021	56	160	145	—	—		
			2020	—	—	—	—	—		
事業④	地域文化セミナー(11講座・12回)	2022	63	143	159	—	—	—		
		2021	63	109	110	—	—			
		2020	67	118	91	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築年が昭和55年であり、施設の老朽化に伴う修繕を要する箇所が多数ある。								
	対応策	計画的な施設修繕を実施するとともに、施設利用に支障がある箇所については、小額工事で早急に必要な改修を行う。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合	—	—	—	—						
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	27,220	26,913	26,980	1人当たりのコスト(円)	938	947	1,062
	施設利用率(%)	11.2	10.1	10.9	1開館日当たりのコスト(円)	170,181	168,262	168,682
	1日当たり利用者(人)	181	178	159	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	58.9	63.1	57.1	1貸出冊当たりのコスト(円)	930	827	889
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p> <p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。							

リストNo	03-059	施設コード	04524		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	熊ふれあいセンター				
所在(町名・番地)	天竜区熊1977-2				
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕		
	施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名 森田 修		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市ふれあいセンター条例				
設置目的	生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。				
主な利用者	地域活動団体、一般地域住民				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:00 ～ 21:30				
建物情報	総延床面積	758.09	土地面積	1,245.30	
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	1,245.30
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1994/3/18			
経過年数(主要建物)	29	代表地目(現況地目)	宅地		
用途地域	都市計画区域外				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	—	—	—	
	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
一般財源	—	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	128	225	68
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	167	13	8
	収入計(A)	295	238	76
支出(千円)	人件費	13,400	13,400	13,400
	物件費(委託料)	883	944	875
	維持補修費(修繕費)	765	437	402
	物件費(光熱水費)	1,235	1,145	1,107
	物件費(借地料)	68	82	76
支出計(B)	16,351	16,008	15,860	
行政コスト(B-A)		16,056	15,770	15,784
収支前年比		101.81	99.91	101.30
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		5,199	5,199	5,199
利用状況	利用コマ数/年	324	434	307
	利用可能コマ数/年	32,669	32,081	30,303
	施設利用者数/年	1,376	2,335	1,345
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	1	—	12
	蔵書数	317	323	325
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	5,214	24,639	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2017	外壁改修工事	5,540			
2011	耐震補強工事	33,292				

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
その他の分類	25-023	旧熊市場簡易水道	—	0.1
	10-021	くまデイサービスセンター	地域	0.2
	15-090	熊小学校	生活	0.2
	14-120	天竜第11分団熊	コミュニティ	0.2
	04-050	黒滝あずまや	小規模等	1.8



基本情報	リストNo	03-059	施設コード	04524	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	熊ふれあいセンター			施設	天竜区・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	1
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸館業務、自主事業(講座等の企画・開催)、地域活動の支援、窓口サービスの提供				
		主な利用者	地域活動団体、一般地域住民				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢者の増加とともに身近な学習施設、行政窓口としてニーズが増す。				
	特記事項		地域住民にとって生活圏内に唯一の施設である。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		ふれあいセンター自主事業講座	2022	134	331	156	
		子ども講座(3講座)、アクティブ・シニア講座(3講座)、地域文化セミナー(8講座)、地域づくり講座(1講座)	2021	83	140	97	
		コロナ禍である令和2、3年度に比べ開催数は増加した。	2020	89	124	70	
		ふれあいセンターまつり(新型コロナウイルスの影響により中止)	2022	—	—	—	
事業②	ふれあいセンター活動の成果発表を中心に、文化作品展、芸能発表、ふれあい広場など、地域住民の発表と交流の場として関係団体と協働で開催。	2021	—	—	—		
	2020	—	—	—			
	事業③	くんま☆みんなの作品展(11月11~14日 来場者:78名)	2022	—	—	78	
令和3年度に引き続きふれあいセンターまつりの代替(センター自主事業)として、地域住民の作品を展示・披露する「くんま☆みんなの作品展」を開催した。		2021	—	—	120		
2020		—	—	92			
事業④	—	2022	—	—	—		
	2021	—	—	—			
2020	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	元々は3つの施設に分かれていたこともあり、場所によっては経年劣化による施設設備の損傷・故障等が発生している。今のところ大規模な修繕の必要はないが、特に空調は古いものが多く故障しても交換部品がないため新たな機器を更新するしかない。					
	対応策	空調については計画的に更新を行えるよう更新計画を作成し、使用不能の機器、使用頻度の高い機器及び作動状況の悪い機器等から計画的に更新中である。空調以外の箇所については12条点検及び施設パトロールの結果を踏まえ、計画的に修繕を行っていくとともに臨時的な修繕にも対応していく。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
記入欄	民活導入	廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
天竜区の特事情を考慮し、現行どおりの管理、運営を行っていく。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	21,180	20,802	20,821	1人当たりのコスト(円)	11,669	6,754	11,735
	施設利用率(%)	1.0	1.4	1.0	1開館日当たりのコスト(円)	44,724	43,928	43,967
	1日当たり利用者(人)	4	7	4	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	0.3	0.0	3.7	1貸出冊当たりのコスト(円)	16,056,000	—	1,315,333
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)		品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)		
<p>縦軸 利用状況 前年収支比率等による評価</p> <p>横軸 建物の状況(耐震性、築年数等)による評価</p>		<p>縦軸 前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価</p> <p>横軸 利用状況等による評価</p>		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-060	施設コード	04525
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	上阿多古ふれあいセンター		
所在(町名・番地)	天竜区西藤平1555		
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕
	施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名 森田 修
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市ふれあいセンター条例		
設置目的	生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。		
主な利用者	地域活動団体・各種団体・地域住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 21:30		
建物情報	総延床面積	1,682.09	土地面積 4,228.25
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.41	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1980/3/15	
	経過年数(主要建物)	43	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	137	103	147
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	12	36	23
	収入計(A)	149	139	170
支出(千円)	人件費	14,200	14,200	14,200
	物件費(委託料)	1,018	959	794
	維持補修費(修繕費)	1,686	661	624
	物件費(光熱水費)	716	645	625
	物件費(借地料)	1	1	1
支出計(B)	17,621	16,466	16,244	
行政コスト(B-A)		17,472	16,327	16,074
収支前年比		107.01	101.57	101.01
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,128	3,128	3,128
利用状況	利用コマ数/年	788	585	770
	利用可能コマ数/年	42,003	40,833	47,073
	施設利用者数/年	4,842	4,055	4,790
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	23,647	92,125	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2021	体育館外壁・屋根改修工事	14,428			
2012	付設体育館耐震補強工事	42,653				
2006	耐震補強工事(建築工事)	78,015				
2006	耐震補強工事(機械設備工事)	18,376				

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
05-045	上阿多古運動場器具庫	小規模等	0.0
14-117	天竜第10分団西藤平	コミュニティ	0.2
22-009	あたご診療所	生活	0.2
08-081	上阿多古幼稚園	生活	0.2
15-093	上阿多古小学校	生活	0.2
02-013	あたご診療所医師住宅	地域	0.3
14-119	天竜第10分団東藤平	コミュニティ	0.7
25-033	旧西藤平簡易水道	—	0.7



基本情報	リストNo	03-060	施設コード	04525	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課			
	施設名	上阿多古ふれあいセンター			施設	天竜区・まちづくり推進課				
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	2			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。								
		主な業務内容	自主事業(講座・コミュニティ事業等の企画・開催)・貸館業務・中山間地域の振興							
		主な利用者	地域活動団体・各種団体・地域住民							
	設置目的の継続性・妥当性									
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり、常用は確保されている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者の高齢化に伴い、身近な施設としてニーズが増す						
	特記事項			生涯学習や地域交流、地区防災の拠点として不可欠な施設						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		地域ふれあいフェスタ	2022	—	—	—				
		上阿多古ふれあいセンターまつり(中止)	2021	—	—	—				
		2020	—	—	—					
事業②		ふれあいセンター自主事業講座	2022	203	247	210				
		子ども講座(5講座)アクティブシニア講座(2講座)地域文化セミナー(9講座)地域づくり講座(3講座)	2021	156	226	196				
		2020	212	150	209					
事業③		地域ふれあいフェスタ	2022	—	—	200				
		かみあたご☆ふれあい作品展	2021	—	—	170				
		2020	—	—	—					
事業④	—	2022	—	—	—					
	—	2021	—	—	—					
	—	2020	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課	課題	施設のLED照明器具の導入が進む中、附設体育館は水銀灯を使用している。水銀灯の製造終了に伴い、在庫不足のため今後の体育館使用に支障をきたすことが予想される。								
	対応策	附設体育館のLED化を実現するために、計画的に改修を行う。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
代替サービス		—	—	—	—					
記入欄	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	天竜区の特殊事情を考慮し、現行どおりの管理、運営を行っていく。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	10,387	9,706	9,556	1人当たりのコスト(円)	3,608	4,026	3,356
	施設利用率(%)	1.9	1.4	1.6	1開館日当たりのコスト(円)	48,669	45,479	44,774
	1日当たり利用者(人)	13	11	13	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりに関しては重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。</p>								



基本情報	リストNo	03-061	施設コード	04526	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	下阿多古ふれあいセンター				施設	天竜区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	2
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・中山間地域の振興				
		主な利用者	地域活動団体10団体、自治会、下阿多古地区シニアクラブ、下阿多古小学校児童等				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者はあり、需要は確保されている				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	高齢者層の人口増加に伴い、身近にある施設としてニーズが増す。				
		特記事項	地域交流・生涯学習の拠点として、必要不可欠な施設。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		地域ふれあいフェスタ(ふれあいセンターまつり):中止	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②		子ども講座:2講座、2日開催(阿多古川の水生物調査、クリスマスケーキ作り)	2022	24	39	34	
			2021	14	19	19	
			2020	19	16	16	
事業③		アクティブ・シニア講座:6講座、14日開催(レクダンス、健康講座、切り絵教室、スマホ講座)	2022	25	470	240	
			2021	19	366	189	
事業④	地域づくり講座:1講座、1日開催(しめ飾り作り)	2022	14	15	8		
		2021	14	15	8		
		2020	14	20	13		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	・建物が築46年を経過しており、ユニバーサルデザイン化の対応は充分できていない。 ・老朽化により床や建具に損傷が見られるほか、外壁塗装も必要な時期がきている。					
	対応策	・公共建築課の長寿命化のための大規模改修事業により、UD化とともに利用上支障のある箇所を併せて修繕していく。(R5設計、R7施工予定)					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	天竜区の特長事情を考慮し、現行どおりの管理、運営を行っていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	21,680	22,906	23,136	1人当たりのコスト(円)	3,540	3,652	4,501
	施設利用率(%)	2.7	2.3	2.7	1開館日当たりのコスト(円)	46,189	48,802	49,292
	1日当たり利用者(人)	13	13	11	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>縦軸 利用状況 前年収支比等による評価</p> <p>横軸 建物の状況(耐震性、築年数等)による評価</p>				<p>縦軸 前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価</p> <p>横軸 利用状況等による評価</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-062	施設コード	04527
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	光明ふれあいセンター		
所在(町名・番地)	天竜区山東2309-8		
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕
	施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名 森田 修
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市ふれあいセンター条例		
設置目的	生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。		
主な利用者	地域活動団体25団体、各種団体等		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00～21:30		
建物情報	総延床面積	1,158.68	土地面積 1,911.68
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1998/11/6	
経過年数(主要建物)	24	うち所有面積 1,383.08	うち借地面積 528.60
用途地域	第一種中高層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



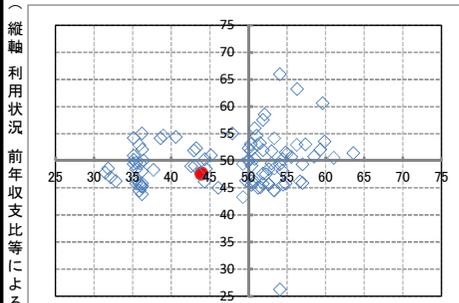
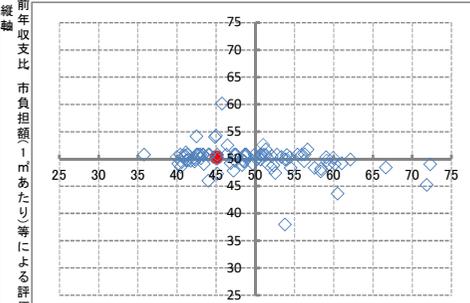
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	1,052	1,023	846
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	337	144	8
	収入計(A)	1,389	1,167	854
支出(千円)	人件費	14,200	14,200	14,200
	物件費(委託料)	1,157	1,466	1,215
	維持補修費(修繕費)	152	303	920
	物件費(光熱水費)	1,911	1,611	1,534
	物件費(借地利)	233	233	233
支出計(B)	17,653	17,813	18,102	
行政コスト(B-A)		16,264	16,646	17,248
収支前年比		97.71	96.51	105.42
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,780	2,780	7,061
利用状況	利用コマ数/年	4,162	3,522	3,302
	利用可能コマ数/年	49,411	46,899	38,723
	施設利用者数/年	14,370	14,789	14,488
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	28	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	39,756	13,902	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	給水設備改修工事	8,730			
2017	外壁改修工事	6,143			
2013	外壁補修工事(旧天竜勤労青少年ホーム部分)	9,349			
2010	下水道接続工事	3,675			
2007	屋根防水改修工事	4,200			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-058	二俣協働センター	生活	1.9
05-044	天竜庭球場トイレ	小規模等	0.1
14-098	天竜第4分団相生	コミュニティ	0.1
08-079	光明幼稚園	生活	0.1
15-097	光明小学校	生活	0.5
15-141	光が丘中学校	生活	0.7
14-097	天竜第4分団栄町	コミュニティ	1.1
13-083	大谷団地	地域	1.2
18-010	天竜防災センター	地域	1.3



基本情報	リストNo	03-062	施設コード	04527	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	光明ふれあいセンター				施設	天竜区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	2
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・中山間地域の振興				
		主な利用者	地域活動団体25団体、各種団体等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズが増す			
	特記事項			地域づくり及び生涯学習の拠点として必要不可欠な施設			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		地域文化セミナー、パン＆ケーキ講座、ビーズアクセサリ講座、多肉植物寄せ植え講座、ミニ門松講座、モロッカンプレート講座他	2022	841	1,561	276	
			2021	728	2,138	1,419	
			2020	587	1,302	1,345	
事業②		地域ふれあいフェスタ(ふれあいセンターまつり):中止	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		子ども講座:5講座5日開催(工作教室、陶芸教室、ガラスアート教室、羊毛フェルト教室、カップケーキデコレーション教室)たんぼぼ学級	2022	92	157	79	
			2021	211	490	282	
			2020	70	213	221	
事業④	アクティブ・シニア講座(友遊学級):中止	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	別館は旧勤労青少年ホームとして使用していた鉄筋コンクリート造り2階建ての施設で昭和53年の完成から40年以上を経過し、ユニバーサルデザイン化も進んでいない。また、老朽化により修繕を要する箇所が増えている。本館は光明公民館として平成10年に新築された木造平屋建ての施設で築後20年以上が経過した。					
	対応策	別館は平成25年度に外壁補修工事を実施、平成27年度には内壁のクラック修繕を実施。本館は平成29年度に外壁塗装工事を実施。令和2年度には別館給水設備改修工事を実施					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
記入欄	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民生導入	天竜区の特殊事情を考慮し、現行どおりの管理、運営を行っていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	14,037	14,366	14,886	1人当たりのコスト(円)	1,132	1,126	1,191
	施設利用率(%)	8.4	7.5	8.5	1開館日当たりのコスト(円)	45,304	46,368	48,045
	1日当たり利用者(人)	40	41	40	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	580,857	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)		品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)		
				<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
<p>住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。</p>								

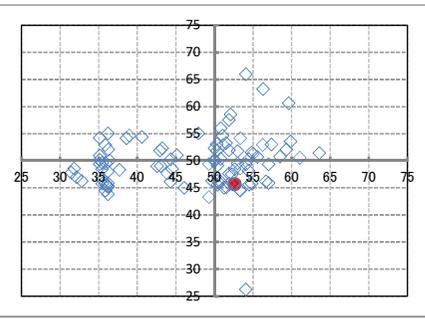
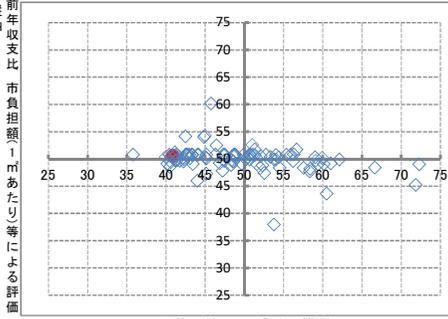


基本情報	リストNo	03-063	施設コード	04528	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	竜川ふれあいセンター				施設	天竜区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	1
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援・中山間地域の振興				
		主な利用者	地域活動団体・各種団体等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者はあり、需要は確保されている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢者層の人口増加に伴い、身近にある施設としてニーズが増す。				
	特記事項		地域交流・生涯学習の拠点として、必要不可欠な施設。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		地域ふれあい事業 竜川ふれあいセンター活動の成果発表を通じて、地域住民の親睦と交流の場を提供する。	2022	—	—	—	
		2021	—	—	80		
		2020	—	—	150		
		2022	112	177	118		
事業②	ふれあいセンター自主事業講座 子ども講座(2講座)、アクティブ・シニア講座(2講座)、地域文化セミナー(5講座)、浜松市と大学との連携事業(1講座)等を開催した。	2021	133	203	129		
	2020	126	220	148			
	2022	—	—	50			
事業③	たつかわみんらの作品展(3月3日~5日 来場者:50名) 令和3年度に引き続きふれあいセンターまつりの代替(センター自主事業)として、地域住民の作品を展示・披露する「たつかわみんらの作品展」を開催した。	2021	—	—	—		
	2020	—	—	—			
	2022	—	—	—			
事業④	—	2021	—	—	—		
	2020	—	—	—			
	2022	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	施設内においてはユニバーサルデザイン対応が不十分であるとともに、老朽化に伴う修繕を要する箇所が発生している。特に主な貸スペースは2階に位置しており、その利用者の多くは高齢者であることから、エレベーターの早期設置が望まれる。					
	対応策	計画的な施設修繕を実施するとともに、必要最低限な修繕は早急に実施する。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管 管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス 統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	天竜区の特殊事情を考慮し、現行どおりの管理、運営を行っていく。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	13,112	13,278	12,899	1人当たりのコスト(円)	6,415	6,167	5,794
	施設利用率(%)	3.5	4.3	3.7	1開館日当たりのコスト(円)	45,513	46,089	44,772
	1日当たり利用者(人)	7	7	8	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	2.8	27.5	1.7	1貸出冊当たりのコスト(円)	653,560	73,866	1,148,071
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
（縦軸） 利用状況 前年収支比等による評価	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				（縦軸） 前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価	<p>利用状況等による評価(横軸)</p>		
	<p>参考</p> <p>利用者の圏域毎の方向性                  地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p> <p>利用用途別分類毎の方向性                  今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								



基本情報	リストNo	03-064	施設コード	04529	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	城西ふれあいセンター				施設	天竜区佐久間協働センター
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	1
複合施設							
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸館業務、自主事業(講座等の企画・開催)、中山間地域の振興				
		主な利用者	地域活動団体(13団体)、自治会、ボランティア団体等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は確保されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			高齢者の増加に伴い地域市民のニーズは変化する可能性がある。			
	特記事項						
	生涯学習の拠点として必要不可欠な施設。						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	子供講座 佐久間小学校の児童を対象に実施。講師は地域のシニアクラブ会員等。地域住民と関わることで世代間の交流を促進する。	2022	—	16	16	
			2021	—	16	16	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
	事業②	アクティブシニア講座・地域文化セミナー スマホ相談会(4回)、キャッシュ決済講座(1回)、お達者ゲーム大会(1回)、ルパーフのジャムづくり講座(1回)、整理収納講座(1回)、パンづくり講座(2回)、マイナンバー出張申請サポート(3回)	2022	—	106	155	
			2021	—	220	184	
			2020	—	70	74	
	事業③	女性学級 開催日数8日、地域住民を対象に手芸・パッチワークの講座を開催。募集人数=10名程度 学習成果活動事業 心の健康と健康寿命(2回)、城西まちあるき(1回)	2022	—	119	132	
			2021	—	132	95	
2020			—	90	51		
事業④	地域づくり講座 大洞・若子城址の伝承を訪ねる(1回)、講座そば打ち講座(3回)、ぬか漬けづくり講座(1回)、野菜づくり講座(1回)	2022	—	63	80		
		2021	—	40	48		
		2020	—	30	34		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	前年度まで課題で挙げていた屋根・外壁等に錆びやひび割れ及び空調設備の経年劣化による故障等は改修工事を行い、改善されました。施設は32年経過し、施設設備の老朽化が進んでいる。経年劣化による修繕箇所の発生が考えられる。					
	対応策	施設設備の不具合の多くを随時修理等により対応している状況です。建築基準法による定期点検等の他、自主点検を頻繁に行い、故障前に対応策を施すことで健全な施設管理を行います。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
民間移管		—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—		
記入欄	民生導入	代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
		複合化	—	—	—	—	
		広域化	—	—	—	—	
天竜区の特長事情を考慮し、現行どおりの管理、運営を行っていく。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	12,890	13,506	13,766	1人当たりのコスト(円)	5,831	5,114	9,164	
	施設利用率(%)	2.4	2.5	2.1	1開館日当たりのコスト(円)	45,677	47,861	48,780	
	1日当たり利用者(人)	8	9	5	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	公共施設等総合管理計画より抜粋					※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
		<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p> <p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化が進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。									

リストNo	03-065	施設コード	04530
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	山香ふれあいセンター		
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町大井2415-1		
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕
	施設	天竜区佐久間協働センター	課長名 高氏 淳
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市ふれあいセンター条例		
設置目的	生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。		
主な利用者	地域活動団体(4団体) 自治会 ボランティア団体等		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 21:30		
建物情報	総延床面積	672.94	土地面積 4,314.50
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2002/9/20	
	経過年数(主要建物)	20	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



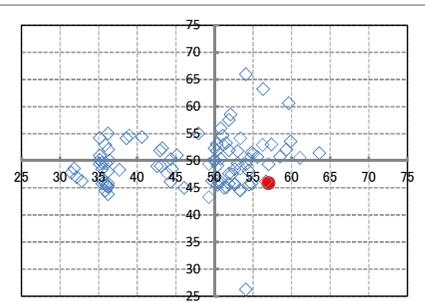
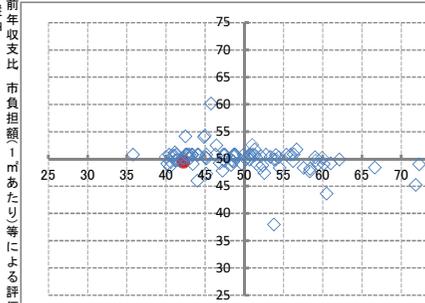
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	88	124	82
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	11	8	9
	収入計(A)	99	132	91
支出(千円)	人件費	14,200	14,200	14,200
	物件費(委託料)	2,162	2,116	2,241
	維持補修費(修繕費)	457	1,719	952
	物件費(光熱水費)	1,522	1,177	1,068
	物件費(借地料)	4	4	4
支出計(B)	18,345	19,216	18,465	
行政コスト(B-A)		18,246	19,084	18,374
収支前年比		95.61	103.86	108.57
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		4,973	4,973	4,973
利用状況	利用コマ数/年	714	917	792
	利用可能コマ数/年	27,758	23,195	21,645
	施設利用者数/年	4,098	2,984	1,782
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	11,039	84,718	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
13-081	山香団地	地域	0.0	
22-013	浜松市国民健康保険佐久間病院附属山香診療所	生活	0.1	
14-137	佐久間第2分団舟戸	コミュニティ	0.3	



基本情報	リストNo	03-065	施設コード	04530	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課			
	施設名	山香ふれあいセンター			施設	天竜区佐久間協働センター				
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	1			
複合施設	—									
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。								
		主な業務内容	貸館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・中山間地域の振興							
		主な利用者	地域活動団体(4団体) 自治会 ボランティア団体等							
	設置目的の継続性・妥当性									
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			利用者の高齢化が進んでおり、ニーズ的には減少する可能性がある。						
	特記事項			地域コミュニティの維持及び生涯学習の拠点として必要不可欠な施設である。						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		ふれあい交流事業(子ども講座):1回開催 地区のシニアクラブ会員を講師に、市立佐久間小学校全児童・生徒を対象に蕎麦打ち体験を実施し、世代間の交流を図る。	2022	62	50	50				
			2021	60	60	50				
			2020	60	60	55				
事業②		地域文化セミナー(8回) パンづくり講座(3回)、プリザーブドフラワーのお正月飾り(1回)、誰でもできる陶芸体験(1回)、マイナンバー出張申請サポート(3回)	2022	40	80	63				
			2021	103	90	70				
			2020	91	100	82				
事業③		山香ふれあいセンターまつり(文化展の実施):1回4日間開催	2022	—	—	331				
			2021	—	—	44				
			2020	—	—	343				
事業④	アクティブシニア講座(6回) スマホ相談会(4回)、キャッシュレス決済講座(2回)	2022	—	21	21					
		2021	—	—	—					
		2020	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課	課題	平成14年度新設から20年経過し、施設設備の老朽化が進んでいる。特に経年劣化による空調設備、施設の雨漏り、誘導灯、照明器具等の不具合が出てきており、その都度修繕を行っているが今後も多く修繕箇所の発生が考えられる。								
	対応策	施設の現状を維持できるよう、定期的な点検、修繕を行う。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
民間移管		—	—	—	—					
管理主体変更		—	—	—	—					
代替サービス		—	—	—	—					
記入欄	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—					
民生導入	天竜区の特殊事情を考慮し、現行どおりの管理、運営を行っていく。									

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	27,114	28,359	27,304	1人当たりのコスト(円)	4,452	6,395	10,311
	施設利用率(%)	2.6	4.0	3.7	1開館日当たりのコスト(円)	50,825	53,159	51,181
	1日当たり利用者(人)	11	8	5	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸） 利用状況 前年収支比等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間/ウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜西市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化が進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりに関する重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-066	施設コード	04531
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	浦川ふれあいセンター		
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町浦川2794-1		
利用者の圏域別分類等	生活	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 藤田 裕
	施設	天竜区佐久間協働センター	課長名 高氏 淳
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市ふれあいセンター条例		
設置目的	生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。		
主な利用者	地域活動団体(21団体)、自治会、ボランティア団体等		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00～21:30		
建物情報	総延床面積	655.32	土地面積 3,896.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	4	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	0.82	
	耐震工数(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1971/3/5	
	経過年数(主要建物)	52	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



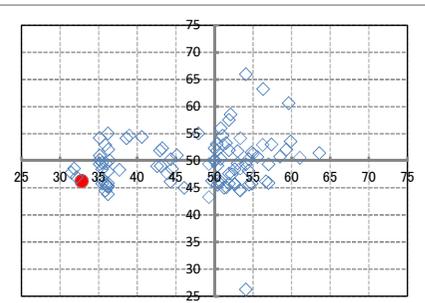
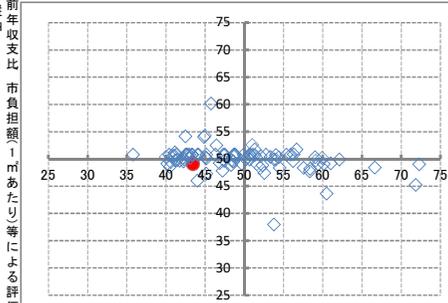
項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	140	117	82
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	12	13	17
	収入計(A)	152	130	99
支出(千円)	人件費	14,200	14,200	14,200
	物件費(委託料)	1,314	1,297	1,298
	維持補修費(修繕費)	298	75	91
	物件費(光熱水費)	945	836	796
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	16,757	16,408	16,385	
行政コスト(B-A)	16,605	16,278	16,286	
収支前年比	102.01	99.95	126.78	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	9	9	9	
利用状況	利用コマ数/年	1,304	869	722
	利用可能コマ数/年	22,948	22,521	21,345
	施設利用者数/年	6,014	6,640	3,214
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	11,638	193	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
08-075	浦川幼稚園	生活	0.1
13-078	浦川団地	地域	0.1
15-085	浦川小学校	生活	0.4
26-027	農業集落排水上市場処理場	—	0.4
14-134	佐久間第1分団柏古瀬	コミュニティ	0.5
05-031	佐久間瞑想館	地域	0.6
22-012	浜松市国民健康保険佐久間病院附属浦川診療所	生活	0.6
26-023	浦川浄化センター	—	0.7



基本情報	リストNo	03-066	施設コード	04531	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	浦川ふれあいセンター			施設	天竜区佐久間協働センター	
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	2
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		生涯学習の推進及び中山間地域の振興を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・中山間地域の振興				
		主な利用者	地域活動団体(21団体)、自治会、ボランティア団体等				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		地域の高齢化が進んでおり利用者の減少は予想されるが、ニーズはある。				
	特記事項		地域コミュニティの維持及び生涯学習の拠点として必要不可欠な施設である。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		カルチャー教室(地域文化セミナー)ハン作り講座(2回)、羊毛フェルト講座(4回)、プリザードフラワーアレンジメント教室(1回)、カルナーショ講座(1回)、クラフト講座(5回)、マイナンバーカード出張サポート(3回)	2022	—	224	239	
			2021	—	25	56	
			2020	—	75	114	
			2022	—	32	23	
事業②		子ども講座料理教室(1回)、けん玉教室(1回)	2021	—	36	30	
			2020	—	—	34	
事業③		地域づくり講座、アクティブ・シニア講座スマホ相談会(4回)、キャッシュレス決済講座(1回)、歴史講座(2回)	2022	—	44	64	
			2021	—	24	85	
事業④		学習成果活用事業、地域ふれあいフェスタ、浜松市と大学連携事業 オルティーズダンスで健康体操(10回)、ファミリーコンサート(1回)、作品展(1回・2日間)、芸能発表会(1回・1日)、理科工作教室(1回)	2022	—	72	286	
	2021		—	34	170		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成23年度に元浦川中学校校舎の一階部分を全面改築している。経年劣化による不具合の発生はあるが、その都度修繕しており、機能的な問題はない。					
	対応策	施設の現状を維持できるよう、定期的な点検、修繕を行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—		
民活導入	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
	民活導入	天竜区の特殊事情を考慮し、現行どおりの管理、運営を行っていく。					

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	25,339	24,840	24,852	1人当たりのコスト(円)	2,761	2,452	5,067
	施設利用率(%)	5.7	3.9	3.4	1開館日当たりのコスト(円)	46,253	45,343	45,365
	1日当たり利用者(人)	17	18	9	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
		住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりに関する地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。						

施設カルテ 2023

リストNo	03-067	施設コード	00152				
利用用途別分類(施設分類)	集会施設						
施設名	葵が丘会館						
所在(町名・番地)	中区高丘東五丁目1-1						
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域					
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設				
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一				
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治				
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律						
条例	浜松市学習等供用施設条例						
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
主な利用者	地域住民						
運営形態	直営						
指定管理または包括管理委託等の期間	～						
管理者名	—						
開館時間	9:00 ～ 21:00						
建物情報	総延床面積	511.55	土地面積	953.62			
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			土地情報	953.62	
	地上階数(主要建物)	2					うち所有面積
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					うち借地面積
	耐震工事(主要建物)	—			代表地目(現況地目)	宅地	
	建築年月日(主要建物)	1992/3/31					
	経過年数(主要建物)	31					
用途地域	第一種住居地域						
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計				
財源	設置事業費	—	—	—			
	国・県	—	—	—			
	寄付金	—	—	—			
	その他	—	—	—			
	市債	—	—	—			
一般財源	—	—	—				
特記事項	—						



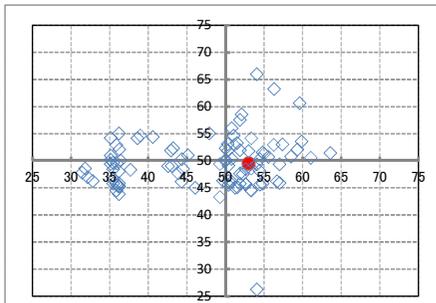
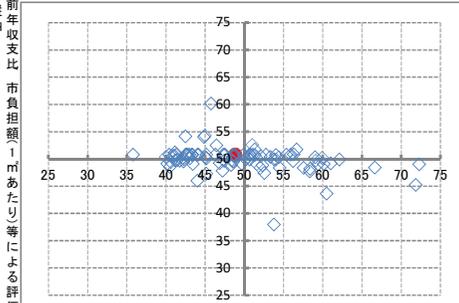
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	3	3
	収入計(A)	3	3	3
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
	行政コスト(B-A)	-3	-3	-3
	収支前年比	100.00	100.00	100.00
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	3,894	3,894	3,894
利用状況	利用コマ数/年	655	604	576
	利用可能コマ数/年	3,648	3,624	3,648
	施設利用者数/年	10,371	8,517	8,661
	開館日数/年	304	302	304
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	70,720	56,290	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	令和元年度 葵が丘会館空調設備更新工事	7,102			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-027	北部協働センター	生活	0.8
03-076	高丘北会館	コミュニティ	0.8
03-071	瑞穂会館	コミュニティ	1.1
03-068	葵西会館	コミュニティ	1.1
03-098	三方原会館	コミュニティ	1.7
07-079	あおぞら放課後児童会	生活	0.4
15-011	葵が丘小学校	生活	0.4
15-102	開成中学校	生活	0.5
01-030	北部市民サービスセンター	生活	0.7
06-005	北図書館	地域	0.8
15-012	葵西小学校	生活	0.9
07-005	葵西放課後児童会	生活	0.9
13-004	高丘団地	地域	1.0



基本情報	リストNo	03-067	施設コード	00152	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	葵が丘会館			施設	中区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から30年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管		—	—	—	—			
管理主体変更		—	—	—	—			
代替サービス		—	—	—	—			
民活導入	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-6	-6	-6	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	18.0	16.7	15.8	1開館日当たりのコスト(円)	-10	-10	-10
	1日当たり利用者(人)	34	28	28	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

施設カルテ 2023

リストNo	03-068	施設コード	00159
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	葵西会館		
所在(町名・番地)	中区葵西二丁目18-18		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律		
条例	浜松市学習等供用施設条例		
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。		
主な利用者	地域住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 21:00		
建物情報	総延床面積	522.00	土地面積 863.68
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1985/3/25	
	経過年数(主要建物)	38	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	66	66	65
	収入計(A)	66	66	65
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		-66	-66	-65
収支前年比		100.00	101.54	100.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,533	3,533	3,533
利用状況	利用コマ数/年	295	189	246
	利用可能コマ数/年	2,709	2,817	2,817
	施設利用者数/年	4,773	2,911	3,381
	開館日数/年	301	313	313
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	50,987	26,339	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2018	葵西会館外壁及び屋上防水改修工事	8,897			
2014	トイレ改修工事	4,482			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-098	三方原会館	コミュニティ	0.6
03-076	高丘北会館	コミュニティ	0.9
03-067	葵が丘会館	コミュニティ	1.1
03-071	瑞穂会館	コミュニティ	1.4
03-050	三方原協働センター	生活	1.6
03-027	北部協働センター	生活	1.7
その他の分類			
13-003	葵西二丁目団地	地域	0.1
15-012	葵西小学校	生活	0.2
07-005	葵西放課後児童会	生活	0.2
15-133	北星中学校	生活	0.5
08-050	三方原幼稚園	生活	0.5
13-002	葵西四丁目団地	地域	0.7
13-004	高丘団地	地域	0.8
13-021	高丘団地再開発住宅	地域	0.9



基本情報	リストNo	03-068	施設コード	00159	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	葵西会館		施設	中区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
—	2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課	課題	建築から35年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管		—	—	—	—			
記入欄	管理主体変更	—	—	—	—			
	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
民活導入	複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-126	-126	-125	1人当たりのコスト(円)	-14	-23	-19
	施設利用率(%)	10.9	6.7	8.7	1開館日当たりのコスト(円)	-219	-211	-208
	1日当たり利用者(人)	16	9	11	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-069	施設コード	00605	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	金屋会館			
所在(町名・番地)	中区曳馬一丁目21-47			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治	
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。			
主な利用者	地域住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	189.24	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	0.89		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1978/3/1		
経過年数(主要建物)	45	代表地目(現況地目)	0.00	
用途地域	第一種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



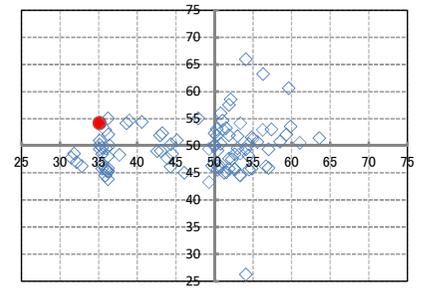
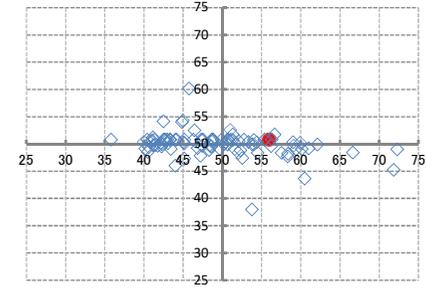
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		997	997	997
利用状況	利用コマ数/年	192	171	174
	利用可能コマ数/年	3,285	3,276	3,285
	施設利用者数/年	8,724	7,635	9,583
	開館日数/年	365	364	365
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	454	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-030	曳馬協働センター	生活	0.7
03-070	幸町会館	コミュニティ	1.6
03-007	男女共同参画・文化芸術活動推進センター	地域	1.6
03-021	和地山公園集会所	生活	1.6
03-024	高台協働センター	生活	1.7
03-003	勤労青少年ホーム	市域	1.8
03-006	勤労会館	地域	1.8
15-013	曳馬小学校	生活	0.3
07-014	こうま放課後児童会	生活	0.3
15-101	曳馬中学校	生活	0.4
16-002	青少年の家	市域	0.5
14-035	浜松第9分団	コミュニティ	0.6
14-037	浜松第11分団	コミュニティ	0.6
11-010	家内労働福祉センター	地域	0.8
07-003	かみじま放課後児童会	生活	0.8



基本情報	リストNo	03-069	施設コード	00605	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	金屋会館		施設	中区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
—	2020	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課	課題	建築から45年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管		—	—	—	—			
記入欄	管理主体変更	—	—	—	—			
	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
民活導入	複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	5.8	5.2	5.3	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	24	21	26	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-070	施設コード	00756	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	幸町会館			
所在(町名・番地)	中区幸三丁目2-16			
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	中区・まちづくり推進課	課長名 田中 徳治	
設置根拠(法)	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律			
条例	浜松市学習等供用施設条例			
設置目的	防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。			
主な利用者	地域住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	371.71	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.27		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1969/3/1		
	経過年数(主要建物)	54		
用途地域	第二種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	425	296	362
	利用可能コマ数/年	2,412	2,394	3,204
	施設利用者数/年	5,772	3,539	3,977
	開館日数/年	268	266	267
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2015	便所改修工事	4,178			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-007	男女共同参画・文化芸術活動推進センター	地域	0.1
03-075	和泉会館	コミュニティ	0.5
03-024	高台協働センター	生活	0.9
03-072	馬生会館	コミュニティ	1.3
03-021	和地山公園集会所	生活	1.5
03-074	和合会館	コミュニティ	1.5
03-069	金屋会館	コミュニティ	1.6
03-027	北部協働センター	生活	1.8
14-008	中消防署高台出張所	地域	0.6
15-020	泉小学校	生活	0.6
07-077	たかだい放課後児童会	生活	0.6
15-024	菽丘小学校	生活	0.6
17-001	四ツ池公園	地域	0.7
05-001	四ツ池公園陸上競技場	広域	0.7
05-002	四ツ池公園浜松球場	広域	0.7
14-036	浜松第10分団	コミュニティ	0.7



基本情報	リストNo	03-070	施設コード	00756	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当
	施設名	幸町会館		施設	中区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防衛施設の設置又は運用により学習等の活動が阻害されている地域の市民について、その障害の緩和に資するため。						
		主な業務内容	貸館業務					
		主な利用者	地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		少子高齢化の進行により、今後ニーズが減少する可能性はある。					
	特記事項		航空自衛隊浜松基地の騒音障害に対する補償としての性格を有する。					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
	—	2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課	課題	建築から50年以上が経過し、建物の経年劣化による故障や今後の施設改修コストの増大が見込まれる。また、地域住民の高齢化の進行に伴い、UD対応の強化も課題となっていくことが見込まれる。						
	対応策	地元を主体とした管理運営が行われており、通常の管理運営経費と小破修繕への対応は全額地元負担となっているが、1500千円以上の修繕工事については、事業費の2分の1ずつをそれぞれ市と地元が負担している。そのため、地元と協議しながら、必要に応じて空調機器等の改修工事やUD対応の工事を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管 管理主体変更		—	—	—	—			
記入欄	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	17.6	12.4	11.3	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	22	13	15	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。								